

英国日本食品消費動向調査

2015年3月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

ロンドン事務所

農林水産・食品調査課

【免責条項】本報告書で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本報告書で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

目次

1. 英国食品市場の概要	6
1.1 基礎的な経済状況.....	6
1.1.1 農業・食品分野と国家経済.....	10
1.1.2 食品・飲料に対する家計支出	12
1.1.3 食品・飲料価格	17
1.2 英国におけるフードサプライチェーン	19
1.3 卸売業・小売業・外食業.....	23
1.3.1 卸売業.....	23
1.3.2 小売業者	30
1.3.3 外食事業者.....	37
1.3.4 ケータリング業	39
1.3.5 スーパーマーケット：ビッグ 4 + 4	40
(1)Tesco	41
(2)Sainsbury's.....	42
(3)Asda	42
(4)Morrisons	43
(5)Waitrose.....	43
(6)Aldi	44
(7)Lidl.....	45
(8)The Co-operative	46
(9)Iceland.....	47
(10) Marks and Spencer (M&S)	48
2.1 ロンドンにおける消費者の需要とトレンド.....	55
2.2 日本食における動向	61
3. 日本食品の輸出動向	63
3.1 日本の農林水産物・食品の輸出推移と特徴.....	63
3.2 EU 向け日本産農林水産物・食品輸出実績と特徴.....	65
3.3 英国向け日本産農林水産物・食品輸出の実績・特徴と主要品目の各輸出推移	66

図 1 : 英国の年齢階層別の人口構造 (2013 年半ば)	8
図 2 : 農業・食品分野のサブセクター別粗付加価値 (2012 年)	10
図 3 : 農業・食品分野の雇用者数および自営農家数 (2013 年第 3 四半期)	11
図 4 : 英国および諸外国の農業の成長率 (1973~2013 年)	12
図 5 : 世帯当たりの週平均支出額が英国平均を上回る 4 つの地域	15
図 6 : COICOP 分類に基づいた各支出項目における支出額 (2013 年の価格で 2001~ 2013 年)	16
図 7 : 英国における 2007~2014 年の食品カテゴリーごとの小売価格上昇率	17
図 8 : 英国における食品流通と市場規模 (2012 年)	19
図 9 : 英国の食料・飼料の輸出額・輸入額の推移 (2013 年価格ベース)	21
図 10 : 卸売業 (食品/飲料) における雇用者数と企業数の推移、2008~2012 年..	25
図 11 : 卸売業 (食品及び飲料) における売上高と概算粗付加価値の変化、2008~ 2012 年.....	26
図 12 : 小売市場の区分.....	32
図 13 : 英国の業態別食料・雑貨小売売上高 (2014 年)	33
図 14 : コンビニエンスストア業態の売上高 (2014 年)	33
図 15 : 英国の主要スーパーマーケットの市場シェア	40
図 16 : 「Lidl Asian Week 2015」のチラシ.....	46
図 17 : 農林水産物・食品の輸出額の推移 (2005~2014 年)	63
図 18 : 農林水産物・食品の輸出額の国・地域別内訳 (2014 年)	64

表 1 : 基礎的な経済指標 (2014 年 10 月時点)	6
表 2 : 英国の全人口に占める出生国別の英国居住人口 (2013 年)	9
表 3 : 国籍別の英国居住人口 (2013 年)	9
表 4 : イングランド及びウェールズの宗教 (2011 年)	9
表 5 : 2012 年の農業・食料分野のサブセクター別、国家経済への貢献 (前年比) .	10
表 6 : 食品・飲料分野の家計支出 (2013 年)	13
表 7 : 加工度別の食品の輸出割合の変化 (2013 年時点、2004 年比)	20
表 8 : 加工度別の食品の輸入割合の変化 (2013 年時点、2004 年比)	21
表 9 : 分類別、英国の食料・飼料の輸出入額 (2013 年価格ベース)	21
表 10 : 卸売業統計 (2012 年の年次企業調査より)	23
表 11 : 卸売業の経時的統計 (食品、飲料)、2008~2012 年	24
表 12 : 英国の卸売業における主要業者とその特徴	27
表 13 : 小売業統計 (2012 年の年次企業調査から 2011 年統計)	31
表 14 : 日本食材を取り扱う小売店	35
表 15 : ロンドン・全国の日本食レストラン数	37
表 16 : 英国における地域別のレストラン、日本食レストラン数	38
表 17 : 宿泊、飲食産業統計 (2012 年の年次企業調査から 2011 年統計)	39
表 18 : Tesco の基本データ (英国のみ)	41
表 19 : Sainsbury's の基本データ	42
表 20 : Morrisons の基本データ	43
表 21 : Waitrose の基本データ	44
表 22 : Aldi の基本データ	45
表 23 : Lidl の基本データ	46
表 24 : The Co-operative の基本データ	47
表 25 : Iceland の基本データ	47
表 26 : Marks & Spencer の基本データ	48
表 27 : 英国の主要スーパーマーケットにおける日本食関連商品の取り扱いについて	49
表 28 : 農林水産物・食品の輸出額の国・地域別内訳 (2014 年)	64
表 29 : EU 及び域内主要国の農林水産物・食品の輸出額上位 10 品目	65

1. 英国食品市場の概要

1.1 基礎的な経済状況

表 1：基礎的な経済指標（2014 年 10 月時点）¹

面積	24.3 万 km ²
人口	6,451.1 万人（2014 年）
実質 GDP 成長率	1.7% ² （2013 年）
名目 GDP 総額	1 兆 6,998 億 7,000 万ポンド
一人当たり名目 GDP	2 万 6,350 ポンド
消費者物価上昇率（全品目）	1.3% ³ （2014 年）
失業率	6.3%（2014 年）

英国経済は 2014 年の第 2 四半期（4～6 月）まで 6 期連続のプラス成長、直近の 2014 年第 1 四半期（1～3 月）と比べると、GDP 成長率は 0.9%、前年同期比で 3.2%⁴と引き続きプラス成長を維持している。

一方、消費者物価上昇率は低下傾向にあり、2014 年 8 月に 1.5%、10 月には 1.3%まで低下している。国家統計局（Office for National Statistics、略称：ONS）は、物価上昇率低下の理由として、(a) ポンド高と (b) 英国の主要貿易相手国からの価格低下圧力を挙げている。また、2014 年より GDP 算出方法が変化しており（違法薬物及び売春を GDP 計算に含めたことが最も大きな変化である⁵）、当該算出方法の変更も影響した可能性がある⁶。

失業率に関しては、経済成長が続いた結果低下傾向にあるほか、非活動者（長期間にわたる病気や身体の障害、家族の介護を理由に（失業中ではなく）就職活動をしていない人）の数も減少傾向にある。また 2014 年 10 月の時点で、転職率は景気低迷前の水準に戻っており、これは労働市場が「売り手市場」の傾向にあることを示す⁷。

上記のような肯定的指標があり、また、ONS の記録史上（1948 年から記録を開始）最も深刻な、2008～2009 年における不況も推測よりは落ち込みが緩やかであったとされる

¹ International Monetary Fund (October 2014 statistics), unless otherwise indicated

² For 2013, Eurostat. <http://epp.eurostat.ec.europa.eu/tgm/table.do?tab=table&init=1&plugin=1&language=en&pcode=tec00115>

³ Office for National Statistics; year to October 2014 http://ons.gov.uk/ons/dcp171778_384317.pdf

⁴ Economic Review September 2014, ONS

<http://www.ons.gov.uk/ons/rel/elmr/economic-review/september-2014/art-er-sept.html#tab-Key-points>

⁵ See Changes to National Accounts: Inclusion of Illegal Drugs and Prostitution in the UK National Accounts, ONS, 29 May 2014.

Available at: <http://goo.gl/9DHJ9r>

⁶ Economic Review October 2014, ONS.

<http://www.ons.gov.uk/ons/rel/elmr/economic-review/october-2014/art-oct-er.html#tab-GDP-revisions>

⁷ Ibid.

ものの、一方で景気回復の歩みも記録史上最も遅いとされており、英国は不況からの回復において、未だ苦境に立たされているのが現状といえる⁸。

2015年の経済見通しに関しては、やや歩みは鈍いものの、経済成長は続くと期待されている。コンサルティング企業であるPwCは、2015年の実質GDP成長率を2.5%、消費者物価指数（CPI）上昇率を1.7%と予測している⁹。

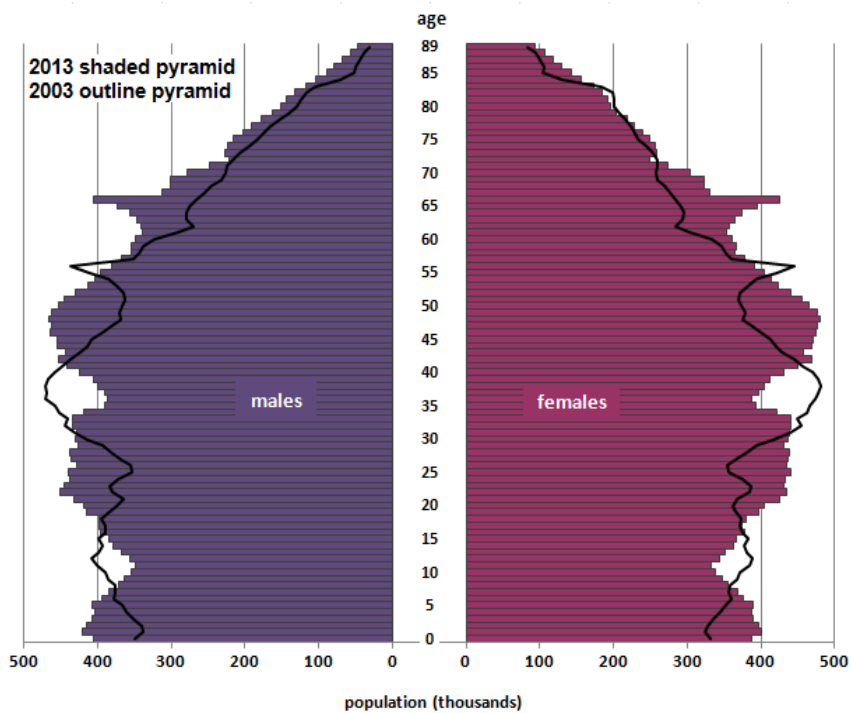
なお、英国の年齢階層別の人口構造を図1、人口に占める英国生まれ及び非英国生まれの割合を

⁸ Ibid.

⁹ UK Economic Outlook November 2014, Price Waterhouse Coopers. Available at:
<http://www.pwc.co.uk/the-economy/publications/uk-economic-outlook/ukeyo-summary-nov-14.html>

表 2、国籍別の英国居住人口を表 3、イングランド及びウェールズにおける宗教分布を表 4 に示す。

図 1：英国の年齢階層別の人口構造（2013 年半ば）¹⁰



¹⁰ http://www.ons.gov.uk/ons/dcp171778_367167.pdf

表 2：英国の全人口に占める出生国別の英国居住人口¹¹（2013 年）

カテゴリ	人数	割合
英国生まれ	54,786,000	87.5%
非英国生まれ	7,780,000	12.4%
EU27※	2,674,000	4.3%
EU14※	1,361,000	2.2%
EU8※	1,077,000	1.7%
EU2※	180,000	0.3%
EU 以外※	5,106,000	8.2%

※EU27：EU14 + EU8 + EU2、マルタ、キプロス、クロアチア

※EU14：オーストリア、ベルギー、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、イタリア、ルクセンブルグ、オランダ、ポルトガル、アイルランド、スペイン、スウェーデン

※EU8：2004年に加盟した東欧諸国：チェコ、エストニア、ポーランド、ハンガリー、ラトビア、リトアニア、スロバキア、スロベニア

※EU2：ブルガリアとルーマニア（2007年に加盟）

※EU 以外：英国及び EU27 カ国以外のすべての国

表 3：国籍別の英国居住人口（2013 年）¹²

カテゴリ	人数	割合
英国	57,678,000	92.1%
非英国	4,902,000	7.8%
EU27	2,507,000	4.0%
EU14	1,168,000	1.9%
EU8	1,148,000	1.8%
EU2	177,000	0.3%
EU	2,394,000	3.8%

表 4：イングランド及びウェールズの宗教（2011 年）¹³

カテゴリ	人数	割合
キリスト教	33,243,175	59.3%
無宗教	14,097,229	25.1%
無回答	4,038,032	7.2%
イスラム教	2,706,066	4.8%
ヒンドゥー教	816,633	1.5%
シク教	423,153	0.8%
ユダヤ教	236,346	0.5%
仏教	247,743	0.4%
その他	240,530	0.4%

¹¹Population by Country of Birth and Nationality Report, August 2014, <http://www.ons.gov.uk/ons/rel/migration1/population-by-country-of-birth-and-nationality/2013/rpt-population-of-the-uk.html#tab-1--What-do-the-latest-figures-show--and-how-have-these-changed-since-2004->

¹²Population by Country of Birth and Nationality Report, August 2014, <http://www.ons.gov.uk/ons/rel/migration1/population-by-country-of-birth-and-nationality/2013/rpt-population-of-the-uk.html#tab-1--What-do-the-latest-figures-show--and-how-have-these-changed-since-2004->

¹³ Religion Data from the 2011 Census: <http://www.ons.gov.uk/ons/rel/census/2011-census/key-statistics-for-local-authorities-in-england-and-wales/sty-what-is-your-religion.html>

1.1.1 農業・食品分野と国家経済

2012年の英国における農業・食品分野の粗付加価値（GVA*）¹⁴は970億ポンドで、英国全体のGVAの約7.1%を占めた¹⁵。サブセクター別の粗付加価値及び前年比については図2及び表5のとおり。

*GVAは、「単一の産業や地域による経済への貢献を測定する」指標である。国内総生産（GDP）とGVAの関係では、 $(GDP) = (GVA) + (租税) - (補助金)$ の関係にある。

出典：http://www.ilgc.org.uk/jp/information/monthly/uk_jul_01.pdf

図2：農業・食品分野のサブセクター別粗付加価値（2012年）¹⁶

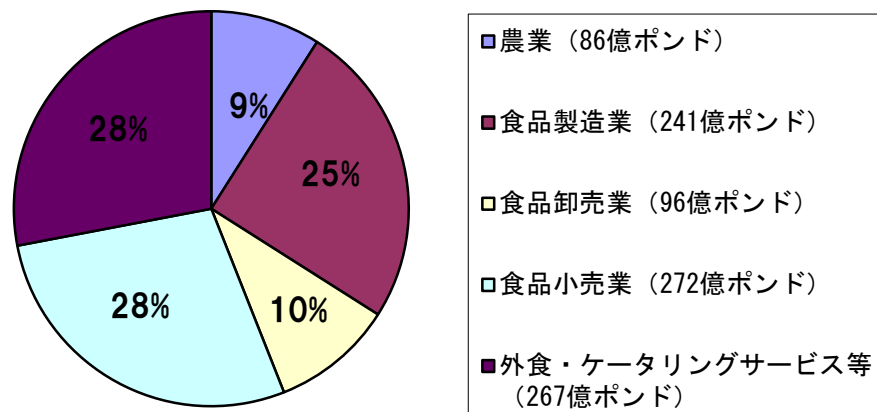


表5：2012年の農業・食料分野のサブセクター別、国家経済への貢献（前年比）¹⁷

	2011年 (百万ポンド)	2012年 (百万ポンド)	増減 (百万ポンド)	増減 (%)
農業	8,645	8,618	△27	△0.3%
食品製造業	25,670	24,097	△1,573	△6.1%
食品卸売業	9,633	9,604	△29	△0.4%
食品小売業	26,848	27,661	+813	+3.0%
外食・ケータリングサービス等 (※)	25,111	26,732	+1,621	+6.4%
全体の粗付加価値に占める割合	7.2%	7.1%		

※「外食・ケータリングサービス等」には、レストラン・カフェ・ケータリング・テーク

¹⁴ A measure of the income generated by businesses, less their expenditure, as estimated by the Annual Business Survey. See: <http://www.ons.gov.uk/ons/rel/abs/annual-business-survey/2012-revised-results/info-agva.html>

¹⁵ Summary: UK Non-Financial Business Economy, 2012, Office for National Statistics <http://www.ons.gov.uk/ons/rel/abs/annual-business-survey/2012-regional-results/sum-abs-2012-regional.html>

¹⁶ Agriculture in the United Kingdom 2013, Department for Environment, Food and Rural Affairs, 2 June 2014 https://www.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/315103/auk-2013-29may14.pdf

¹⁷ Ibid.

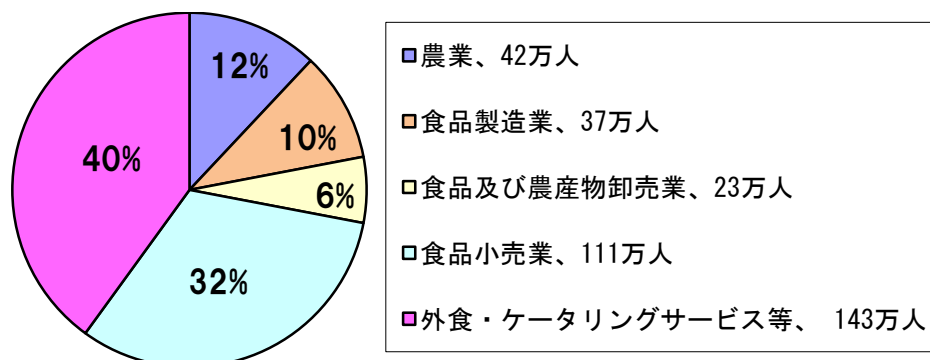
アウトの他パブ・ナイトクラブ等も含むが、ホテルは含まれない¹⁸。これは、標準産業分類（Standard Industrial Classification）の分類番号 56、「食料・飲料サービス」に相当する¹⁹。

なお、サブセクター別に見ると、「食品製造業」において前年比で著しい減少（15億7,300万ポンド減）が見られるものの、英国環境・食料・農村地域省（DEFRA）は、食品製造業においては粗付加価値の減少額以上に投入された価値の減少が多く、生産性は向上している旨を指摘している²⁰。

一方、「外食・ケータリングサービス等」においては、粗付加価値が大幅に上昇（16億2,100万ポンドの増加）した一方で、価値の投入量も大きく増加しており、食品製造業ほどの生産性の向上は確認できない。ただし DEFRA によると、外食・ケータリングサービス等は、2009年こそ減少したものの、2012年まで約10年にわたり長期的な上向き成長を見せている。2012年の合計額は、危機以前（2008年）の水準より21%上昇した²¹。

2013年第3四半期時点では、農業・食品分野における雇用者数（自営農家を含む）は全体で355万人であり、英国における従業者全体の約13%であった。2012年同期と比較すると1.1%の減少であったが、これは農業セクターにおける雇用の減少（4.1%減）が主な原因である。なお、英国全体での雇用は1.7%増である。

図3：農業・食品分野の雇用者数および自営農家数（2013年第3四半期）²²



¹⁸ Total Factor Productivity of the United Kingdom Food Chain 2000-2010, <http://webarchive.nationalarchives.gov.uk/20130123162956/http://www.defra.gov.uk/statistics/files/defra-stats-foodfarm-food-productivity-statsnotice-120927.pdf>

¹⁹ UK Standard Industrial Classification of Economic Activities 2007 (SIC 2007); Download from: <http://goo.gl/bbe1s>

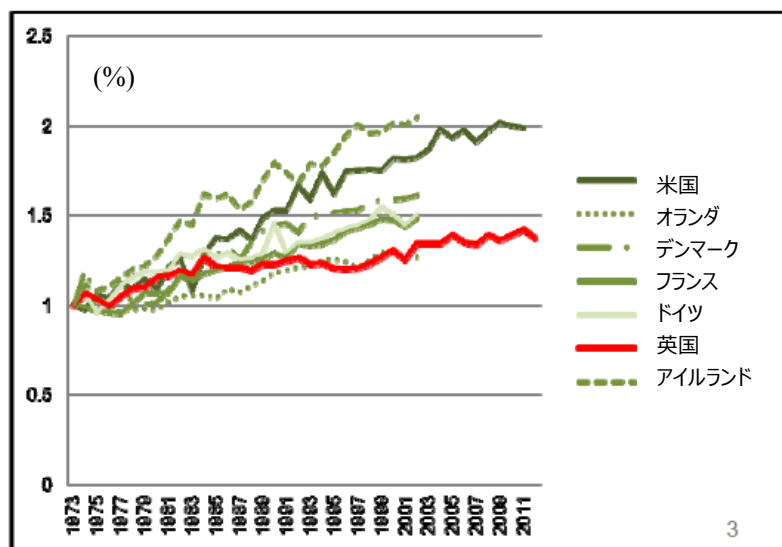
²⁰ Total Factor Productivity of the United Kingdom Food Chain 2012 – final estimate, DEFRA, 31 July 2014. Available at: <http://goo.gl/mRulSM>

²¹ Agriculture in the United Kingdom 2013, Department for Environment, Food and Rural Affairs, 2 June 2014 https://www.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/315103/auk-2013-29may14.pdf

²² Ibid.

農業・食品分野の成長見通しに関して DEFRA は、英国の農業生産性は「比較的低い」(図 4 参照)ものの、生産性は営農形態によって、また同分野内の事業体によって異なっていることを指摘している。その一方で、小売業は競争力が非常に高く、「世界トップレベルの分野」である²³とも指摘しており、とりわけ同分野の成長に貢献できる可能性のある分野として、伝統的特産品保護 (PGI) の認証取得など食品名を保護するための積極的な支援や、観光地におけるホスピタリティセクターの成長促進などが挙げられている²⁴。

図 4：英国および諸外国の農業の成長率（1973～2013 年）



1.1.2 食品・飲料に対する家計支出

2014年12月に発表された「2013年の生活費及び食品調査 (Living Costs and Food、略称: LCF)」は、週ごとの家計支出 (年間平均) の実態を詳しく紹介している。本調査結果は、ONS が実施する大規模な社会調査である統合家計調査 (Integrated Household Survey、略称: IHS) ²⁵の生活費及び食品 (LCF) 部門において、一般家庭の自主調査により収集されたものである²⁶。以下の表では、食品・飲料分野に関連したカテゴリーの全国平均値を示している。

²³ *Food and Drink Sector: Opportunities and Challenges for Growth*, Tim Render, Deputy Director, Food Policy (Competitiveness and Growth), DEFRA. Presentation, June 2014

²⁴ Ibid.

²⁵ Outline of the Integrated Household Survey, <http://www.ons.gov.uk/ons/rel/integrated-household-survey/integrated-household-survey/january-to-december-2013/index.html>

²⁶ 調査対象者は、対象項目における支出を2週間記録する。調査対象者をその年内を通じて交替する形で年間継続して実施される。Survey Methodology: Appendix B: http://www.ons.gov.uk/ons/dcp171776_341970.pdf

表 6 : 食品・飲料分野の家計支出 (2013 年) ²⁷

週平均支出 (COICOP 分類 ²⁸ に準じる)	£444.30 ²⁹	当該項目が含まれる上位カテゴリー中に占める割合
食品・ノンアルコール飲料	£58.80	11%³⁰
食品	£54.00	92%
その他の肉・肉加工品	£6.30	11.7%
パン、精米、穀類	£5.60	10.4%
生鮮野菜	£4.30	8.0%
丸パン、ケーキ、ビスケット類	£3.60	6.7%
生鮮果物	£3.30	6.1%
その他の食料品	£2.70	5.0%
魚、魚加工品	£2.60	4.8%
乳類	£2.40	4.4%
鶏肉 (生鮮、冷蔵、冷凍)	£2.40	4.4%
その他の乳加工品	£2.10	3.9%
チーズ、凝乳	£2.00	3.7%
牛肉 (生鮮、冷蔵、冷凍)	£1.90	3.5%
チョコレート類	£1.80	3.3%
その他の根菜類および根菜加工品	£1.60	3.0%
その他の保存処理をした野菜製品、加工野菜製品	£1.40	2.6%
いも類	£1.00	1.9%
ベーコン、ハム	£1.00	1.9%
ペストリー (甘いものを除く)	£0.80	1.5%
乾燥果実、種実類	£0.70	1.3%
菓子類	£0.70	1.3%
ラム肉	£0.70	1.3%
豚肉	£0.70	1.3%
卵類	£0.70	1.3%
食用氷、アイスクリーム	£0.60	1.1%
砂糖、糖類	£0.50	0.9%
バター	£0.50	0.9%
マーガリン、植物性脂肪、ピーナツバター	£0.50	0.9%
その他の果実	£0.40	0.7%
パスタ類	£0.40	0.7%
調理油、脂肪	£0.30	0.6%

²⁷ 2013 Living Costs and Food Survey, Office of National Statistics.

<http://www.neighbourhood.statistics.gov.uk/HTMLDocs/dvc203/index.html>

²⁸ Classification Of Individual Consumption by Purpose (COICOP) was introduced as a new coding frame for expenditure items:

<http://unstats.un.org/unsd/cr/registry/regcst.asp?Cl=5>

²⁹ The remaining 14% (£73.00) was expenditure on non COICOP items; total weekly household expenditure is £517.30

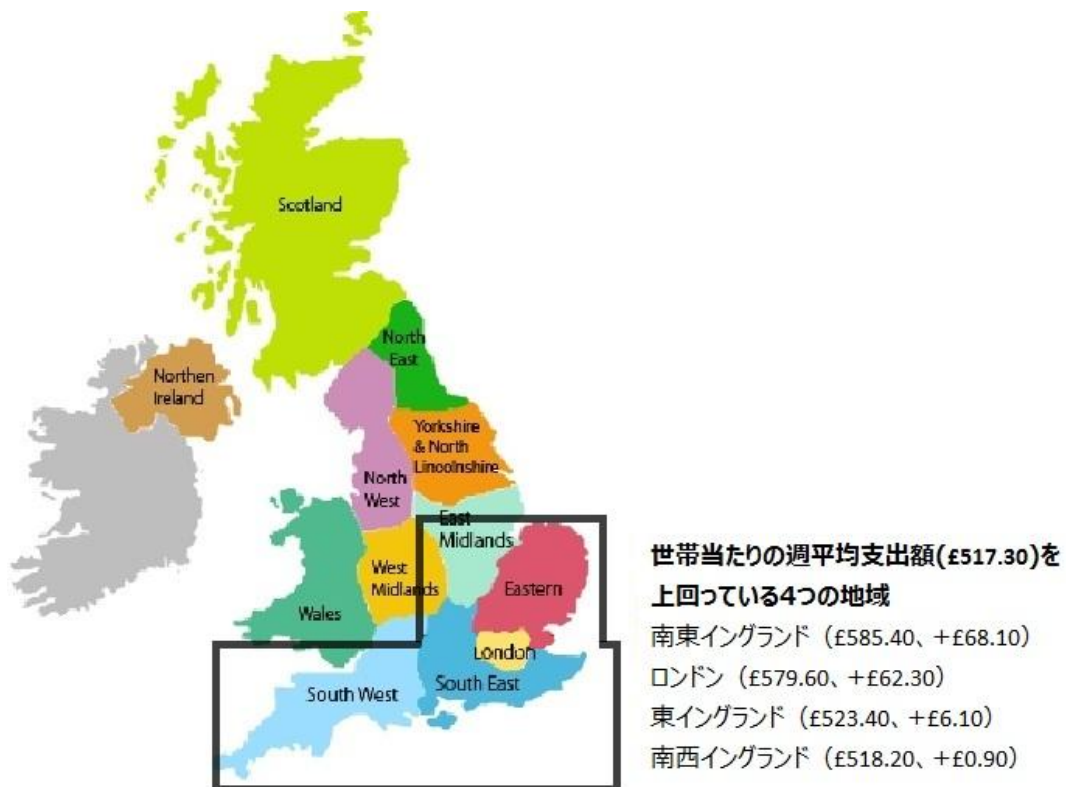
³⁰ Note figures are rounded so percentages may not add to 100.

	ジャム、マーメイド	£0.30	0.6%
	乾燥野菜	£0.10	0.2%
	果実の保存食、果実加工品	£0.10	0.2%
	ノンアルコール飲料	£4.80	8%
	清涼飲料（炭酸飲料、RTD 果実飲料を含む）	£2.00	42%
	果実・野菜ジュース	£1.20	25%
	コーヒー	£0.70	15%
	製茶	£0.50	10%
	ミネラルウォーター、天然水	£0.30	6%
	ココア類、粉末チョコレート	£0.10	2%
	レストラン、ホテル	£40.40	9%
	ケータリングサービス	£33.50	83%
	レストラン・カフェでの料理	£15.90	47%
	酒類（家庭外）	£7.10	21%
	その他のテイクアウト、軽食	£4.40	13%
	暖かい料理、冷たい料理	£3.10	70%
	清涼飲料	£0.80	18%
	菓子	£0.30	7%
	アイスクリーム	£0.10	2%
	中食	£4.20	13%
	食堂 ³¹	£1.80	5%
	職場で購入・消費する料理	£1.10	61%
	給食	£0.70	39%
	宿泊施設サービス（飲食代は含まない）	£6.80	17%
	酒類、たばこ、麻薬	£12.00	2%
	酒類（家庭消費）	£7.70	64%
	ワイン	£4.00	52%
	ビール、シードル、ペリー	£2.10	27%
	蒸留酒、リキュール	£1.60	21%
	たばこ、麻薬	£4.32	36%

³¹ 病院で入院患者に提供される食事は含まない。

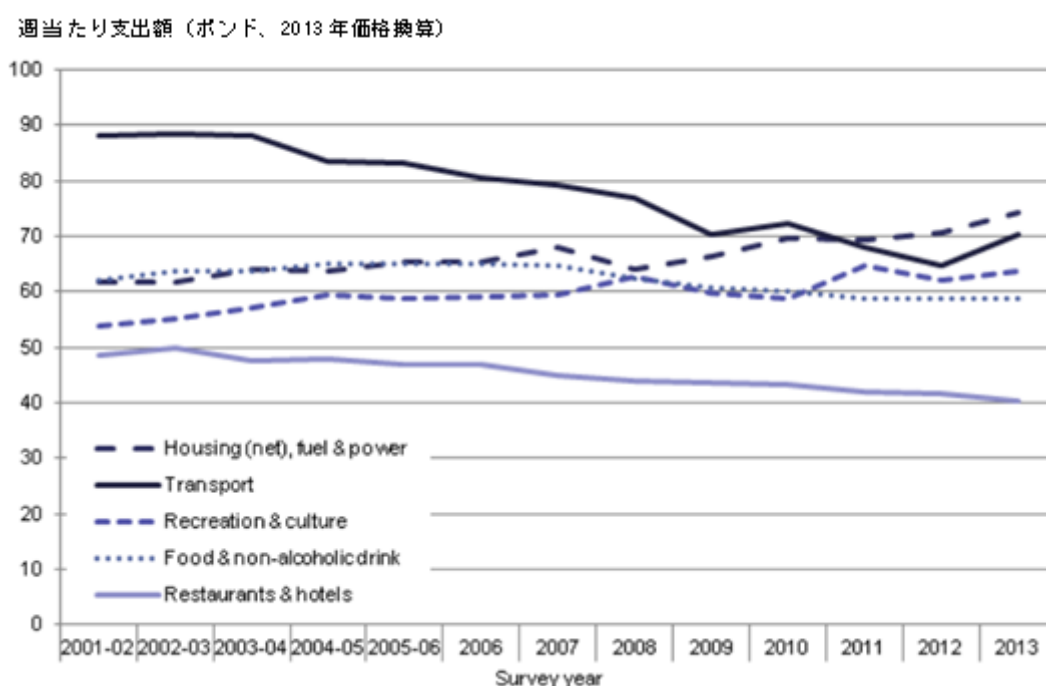
英国全体の世帯当たりの週平均支出額は 517.30 ポンドであり、これを上回っているのは、英国内では、南東イングランド (585.40 ポンド)、ロンドン (579.60 ポンド)、東イングランド (523.40 ポンド)、南西イングランド (518.20 ポンド) の 4 つの地域である。その最大の理由は住居費だとされており、調査報告書には、食品・飲料関連の支出に関するデータは示されていない。

図 5 : 世帯当たりの週平均支出額が英国平均を上回る 4 つの地域



下記図 6 では、英国全体における 2001～2013 年の主要カテゴリーごとの世帯当たりの週平均支出額の推移を示す（金額は 2013 年の物価水準で実質化している）。食品・飲料費が占める金額が緩やかながらも減少傾向にあり、また、レストラン、宿泊施設への支出も 20%程度減少している。実質ベースでは、2013 年時点での支出額が 2001 年度の水準を下回っているが、2012～2013 年のわずかな（統計的には有意でないが）支出増加は、GDP が前年同期比 1.7%増加したことを反映している。

図 6 : COICOP 分類に基づいた各支出項目における支出額（2013 年の価格で 2001～2013 年）³²



また、低所得世帯（所得下位 20%の層）では、支出に占める食品及びノンアルコール飲料の割合が、全体平均よりも大幅に高くなっている（家計消費の 20%を占めている）との報告もある³³。

³² 2013 Living Costs and Food Survey, Office of National Statistics. http://www.ons.gov.uk/ons/dcp171766_385729.pdf

³³ *Faster cost of living increases for poorer households means more people in absolute poverty than thought*, Institute of Fiscal Studies press release, 5 November 2014. http://www.ifs.org.uk/uploads/publications/pr/cl_pr_051114.pdf

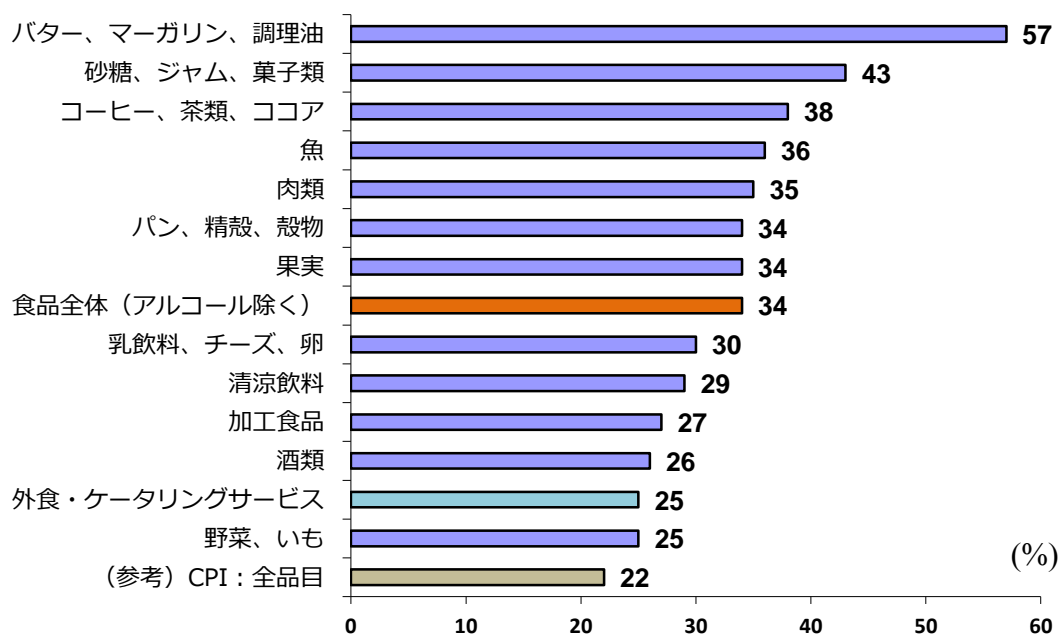
1.1.3 食品・飲料価格

2014年10月時点の消費者物価指数（CPI）は前年同月比で1.3%増であったが、食品小売価格は1.6%減少した。食品小売価格の下落要因については、国家統計局（ONS）は以下を主な理由として挙げている³⁴。

- 小麦価格の下落：2014年9月では前年同月比21%減となっており、パン、シリアル、パスタの価格に影響が出た。また、飼料価格も影響を受けるため、肉の価格が下がる可能性もある。
- スーパーマーケット間での激しい価格競争：背景として、値引き戦略や競争的な価格設定が挙げられる。
- 輸入品価格の低下：ポンド高の効果が価格低下に影響した可能性がある。

ただし、過去8年間（2007～2014年）で見ると、食品の小売価格は全てのカテゴリーで値上がりしており、値上がり率は25～57%（図7参照）に達する。同期間における食品・飲料（ノンアルコール飲料を含む）全体での価格は、（全体の物価変動分を加味した）実質ベースでも8.6%上昇している。

図7：英国における2007～2014年の食品カテゴリーごとの小売価格上昇率³⁵



³⁴ What is affecting prices in the UK in 2014? Office of National Statistics Press Release, 7 November 2014

<http://www.ons.gov.uk/ons/rel/cpi/effects-on-prices-in-the-uk/2014/sty-what-is-affecting-prices-in-the-uk-in-2014.html>

³⁵ Food Statistics Pocketbook 2014, Department for Environment, Food & Rural Affairs (p21)

一方、同期間に家計所得は減少した。現在の不況のきっかけとなった世界金融危機が発生した 2007 年には所得が急落し、その後 2012 年にも 0.8~3.3%（所得階層により異なる）減少しており、現在でも全ての所得階層家計所得は 2002 年の水準以下にとどまっている。

食品・飲料およびノンアルコール飲料への支出額削減は、カロリー摂取量の削減及びより低価格なカロリー摂取への移行という 2 つの要因によるものである可能性が示唆されている³⁶。例えばカロリー摂取量について言えば、2012 年以来、平均エネルギー摂取量は 1.6%低下している³⁷。一方、より低価格なカロリー摂取源への移行の表れとして、低所得層は 2007 年以降、果物及び野菜を購入する傾向が低いことや、牛肉、ベーコン、バター、魚の購入を減らす一方で、より安価である豚肉、鶏肉、卵を購入する傾向にあることが示されている³⁸。

また、フードバンクと呼ばれる、生活困窮者などに食品（緊急食糧）を無料で提供する団体・組織を利用している世帯数が増加していることも注目される。Trussell Trust の統計によると、2013 年度にフードバンクから 3 日分の緊急食糧を受け取った人数は 91 万 3,138 人となっており、これは 2012 度の 34 万 6,992 人より 163.0%も増加している³⁹。低賃金、生活保護給付の遅れ、失業などの要因が組み合わさった結果、英国では食品貧困問題における政治的及び社会的関心が高まっており、2014 年 4 月には「飢餓と食品貧困に関する超党派議員グループ（All-Party Parliamentary Inquiry into Hunger and Food Poverty）」⁴⁰が発足、報告書が公開されている。

³⁶ Shopping Around? How Consumers Adjust to Economic Shocks, Institute of Fiscal Studies, June 2014.
http://www.ifs.org.uk/uploads/publications/conferences/shopping_around_RG_Toulouse_2014.pdf

³⁷ Food Statistics Pocketbook 2014, Department for Environment, Food & Rural Affairs (p54)

³⁸ Ibid. (p21, 49)

³⁹ Latest Foodbank Figures Top 900,000, The Trussell Trust press release, 16 April 2014
<http://www.trusselltrust.org/foodbank-figures-top-900000>

⁴⁰ <http://foodpovertyinquiry.org/>

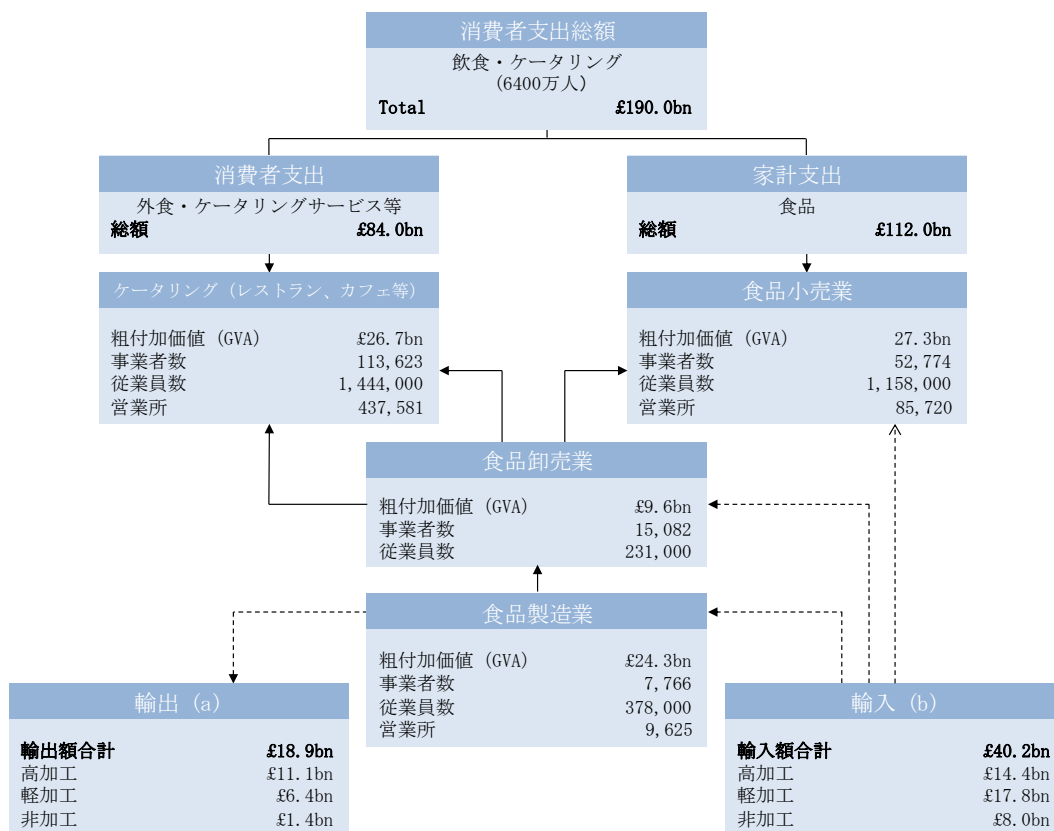
1.2 英国におけるフードサプライチェーン

英国のフードサプライチェーンにおいても、外食・ケータリングサービス業による粗付加価値は 2009 年の減少を除けば長期的な上昇傾向にあり、2012 年は前年比 6.5%増加の 267 億ポンドであった。2008 年比で見れば 21%増加している。雇用者数では、2013 年 9 月には前年同月比で 2.0%の減少（約 2 万 8,000 人減）となっているものの、宿泊施設以外の外食・ケータリングサービス業は、農業・食料部門における雇用の 45%を占めている。

一方、食品小売業による粗付加価値は、2012 年は前年比 3.0%増加して 273 億ポンドとなっている。雇用者数では 2013 年 9 月に前年同月比で 0.5%減少（約 6,000 人減）しているものの、農業・食料部門においては宿泊施設以外の外食・ケータリングサービス業に次いで 2 番目に多くの雇用を占めている分野である。

また、食品卸売業による粗付加価値は 2000 年以降大きく増加しており、2012 年の時点で 96 億ポンド、これは 2000 年と比較すると 73%増加している。しかし、雇用者数は、2012 年にほとんど変化はみられなかったものの、前年比で約 1,000 人に値する 0.4%とわずかに減少した。

図 8：英国における食品流通と市場規模（2012 年）⁴¹



⁴¹ Food Statistics Pocketbook 2014, Department for Environment Food & Rural Affairs (p10)

【輸出】

2013年における英国の食品輸出額は189億ポンドであった。主な食品輸出先はアイルランド（18%）、フランス（11%）、米国（10%）、オランダ（7.2%）となっている。輸出額ベースでは、ウイスキーが1位を占めている（44億ポンド、前年比2.9%減）。

2013年上半期の日本への食品輸出は4,500万ポンドと前年同期比で3.5%減少しており、英国の主な輸出先上位20位から外れた⁴²。ただし、スコットランド産ウイスキーだけで見ると、2012年時点で日本は輸出量で18位、輸出額で16位と上位20位に入っている⁴³。また、スコットランドに限定した場合、輸出総額4億4,000万ポンドで、日本は16位の輸出先である⁴⁴。なお、2004年から2013年までの10年間における加工度別輸出額の変動（2013年価格ベースで計算）は、表7のとおり。

表7：加工度別の食品の輸出割合の変化（2013年時点、2004年比）⁴⁵

分類	輸出額の変化
高加工（菓子類、ジャム、酒類、アイスクリーム）	50%増
軽加工（肉類、チーズ、バター、粉末牛乳、小麦粉）	37%増
未加工（生鮮果実、卵、乳類、クリーム、穀物など）	52%増

なお2012年時点で、世界の食品輸出における英国のシェアは2.4%であり、また、世界の飲料及び蒸留酒市場の13.1%を占めている⁴⁶。

【輸入】

2013年における英国の食品及び飼料の輸入額は、前年比で4.0%増加して402億ポンドとなった。主な輸入先国は、オランダ（6.2%）、フランス（5.6%）、アイルランド（4.7%）、ドイツ（4.6%）、スペイン（3.2%）であり、野菜、果物、野菜・果物の加工品が輸入の上位を占めている（2013年で50億ポンド、前年比6.5%増）。日本からの食品輸入は非常に少なく、2011年の政府による報告では、全体の0.1%にすぎないとされている⁴⁷。

なお、英国は食品・飼料分野における貿易赤字国であり、2013年は貿易赤字が6.7%拡大、213億ポンドとなっている⁴⁸。

⁴² UK Food & Drink Export Performance First Half 2013 Update, Food and Drink Federation Press Release, <http://www.fdf.org.uk/publicgeneral/UK-food-and-drink-export-first-half-2013.pdf>

⁴³ Statistical Report 2012, Scotch Whisky Association http://www.scotch-whisky.org.uk/media/62024/2012_statistical_report.pdf

⁴⁴ Wilson Review of Support for Scottish Exporting, May 2014

https://www.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/315126/The_Wilson_Review2.pdf

⁴⁵ Agriculture in the United Kingdom 2013, Department for Environment, Food and Rural Affairs, 2 June 2014

⁴⁶ BIS Economics Paper No. 17: UK Trade Performance Across Markets and Sectors, February 2012, BIS.

⁴⁷ <http://www.food.gov.uk/news-updates/news/2011/4632/japan>

⁴⁸ Ibid.

表 8 : 加工度別の食品の輸入割合の変化 (2013 年時点、2004 年比) ⁴⁹

分類	輸入額の変化
高加工	40%増
軽加工	32%増
未加工	42%増

図 9 に、1983 年から 2013 年までの輸出額、輸入額の推移を示す。

図 9 : 英国の食料・飼料の輸出額・輸入額の推移 (2013 年価格ベース)

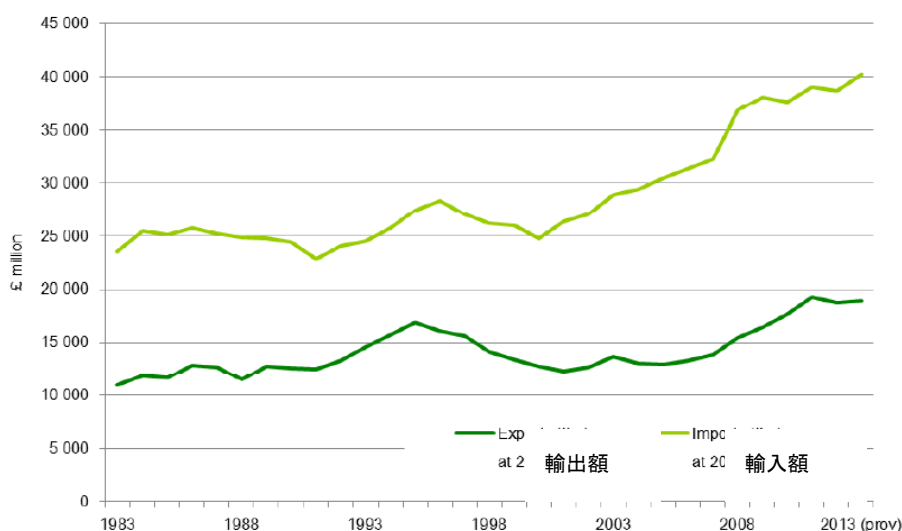


表 9 : 分類別、英国の食料・飼料の輸出入額 (2013 年価格ベース) ⁵⁰

コード	種類	輸入 (百万ポンド)		輸出 (百万ポンド)	
		2007 年	2013 年 (暫定)	2007 年	2013 年 (暫定)
01	肉、肉加工品	4,943	5,868	1,010	1,670
02	乳製品、卵類	2,267	2,943	978	1,375
03	魚、魚加工品	2,414	2,755	1,189	1,465
04	穀物、穀物加工品	2,329	3,567	1,644	1,863
05	果物、野菜、加工品	7,712	8,980	726	957
06	砂糖、砂糖加工品	1,177	1,418	473	375
07	コーヒー、紅茶、ココア、香辛料等	1,945	2,711	887	1,235
08	家畜飼料	1,298	2,086	516	933
09	その他の加工食品	1,859	2,718	943	1,401

⁴⁹ Agriculture in the United Kingdom 2013, Department for Environment, Food and Rural Affairs, 2 June 2014
https://www.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/315103/auk-2013-29may14.pdf

⁵⁰ UK Food Production to Supply Ratio, Agriculture in the United Kingdom 2013, Department for Environment, Food and Rural Affairs, 2 June 2014

11	飲料（酒類を含む）	4,860	5,235	4,960	6,941
22+S4	油類、油脂類、油糧種子	1,470	1,941	478	696
	合計	32,274	40,222	13,804	18,910

なお、英国において日本産食品はまだまだニッチ市場であるため、概況が説明可能なデータ等はほとんど存在しない。

1.3 卸売業・小売業・外食業

1.3.1 卸売業

英国国家統計局（ONS）のデータ（以下の表参照）によると、2012年の売上高は、食料品、飲料、たばこ卸売業で949億ポンド、粗付加価値は合計93億ポンドであった。企業数は1万3,622社、雇用者数は約20万9,000人に上る。2008～2012年の推移と統計の詳細内訳は、下記表10及び表11を参照。

表10：卸売業統計（2012年の年次企業調査⁵¹より）

分類	企業数	総雇用者数	売上高（百万ポンド）	概算粗付加価値（百万ポンド）
46.1 手数料制または契約制による卸売業	17,818	75,000	20,763	4,797
46.2 農産品原料、家畜動物卸売業	2,502	18,000	13,234	1,356
46.21 雑穀、未加工のたばこ、種、動物飼料卸売業	1,063	10,000	11,235	1,084
46.22 花、植物卸売業	951	6,000	1,196	189
46.23 家畜動物卸売業	335	2,000	482	57
46.24 皮革卸売業	153	-	321	25
46.3 食料品、飲料、たばこ卸売業	13,622	209,000	94,898	9,297
46.31 果物、野菜卸売業	2,051	34,000	10,457	1,384
46.32 肉、肉加工品卸売業	2,102	24,000	8,352	1,206
46.33 乳製品、卵、食用油、油脂の卸売業	711	13,000	5,947	797
46.34 酒類、その他飲料の卸売業	3,509	29,000	14,118	829
46.35 たばこ製品卸売業	62	1,000	1,704	241
46.36 砂糖、チョコレート、砂糖菓子卸売業	540	8,000	7,688	856
46.37 コーヒー、紅茶、ココア、香辛料卸売業	428	3,000	2,058	200
46.38 魚類、甲殻類、軟体動物を含むその他の食品卸売業	1,609	17,000	6,111	696
46.39 食料品、飲料、たばこの非専門卸売業	2,610	80,000	38,463	3,087
46.4 家庭用品卸売業	20,604	261,000	89,126	14,375
46.5 情報通信機器卸売業	5,158	77,000	41,746	7,154
46.6 その他の機械器具、備品卸売業	12,769	178,000	48,422	***
46.7 その他の専門卸売業	15,042	261,000	558,538	***
46.9 非専門卸売業	15,185	74,000	22,573	3,630
合計	102,700	1,153,000	889,299	55,009

*** = 開示回避のため情報は非公開

⁵¹ Annual Business Survey ONS. Available at: [Annual Business Survey 2012 Provisional - ABS UK Non-Financial Business Economy \(Sections A-S\), 2008-2012 \(Excel sheet 1379Kb\)](#)

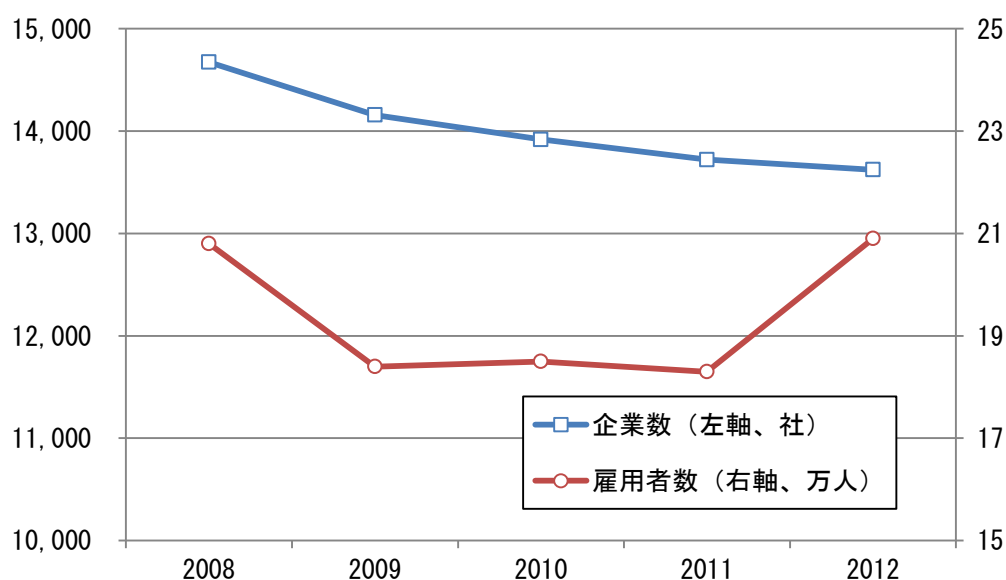
表 11 : 卸売業の経時的統計 (食品、飲料)、2008~2012 年⁵²

分類	年	企業数	総雇用者数	売上高 (百万ポンド)	概算粗付加 価値 (百万ポンド)
46.3 食料品、飲料、たばこ卸売業	2008	14,673	208,000	77,385	8,439
	2009	14,157	184,000	82,421	8,202
	2010	13,918	185,000	89,404	8,840
	2011	13,721	183,000	93,851	9,385
	2012	13,622	209,000	94,898	9,297
46.31 果物、野菜卸売業	2008	2,321	35,000	10,309	1,436
	2009	2,237	28,000	9,128	1,102
	2010	2,159	30,000	9,386	1,207
	2011	2,081	30,000	9,845	1,241
	2012	2,051	34,000	10,457	1,384
46.32 肉、肉加工品卸売業	2008	2,576	21,000	7,470	1,098
	2009	2,408	18,000	7,552	860
	2010	2,345	21,000	7,698	786
	2011	2,142	20,000	8,126	959
	2012	2,102	24,000	8,352	1,206
46.33 乳製品、卵、食用油、油脂の卸売業	2008	861	15,000	6,141	651
	2009	804	14,000	6,008	781
	2010	748	13,000	6,359	811
	2011	732	12,000	6,202	817
	2012	711	13,000	5,947	797
46.34 酒類、その他飲料卸売業	2008	2,998	26,000	10,651	1,086
	2009	3,026	22,000	13,017	1,205
	2010	3,161	23,000	14,997	1,146
	2011	3,349	22,000	15,557	1,463
	2012	3,509	29,000	14,118	829
46.35 たばこ製品卸売業	2008	76	1,000	989	89
	2009	72	1,000	1,093	91
	2010	65	1,000	1,549	174
	2011	62	1,000	1,619	85
	2012	62	1,000	1,704	241
46.36 砂糖、チョコレート、砂糖菓子卸売業	2008	535	4,000	3,819	260
	2009	530	6,000	4,256	375
	2010	540	6,000	5,936	544
	2011	522	5,000	6,104	320
	2012	540	8,000	7,688	856
46.37 コーヒー、紅茶、ココア、香辛料卸売業	2008	455	2,000	1,786	88
	2009	443	2,000	1,781	124
	2010	423	2,000	1,626	91

⁵² Annual Business Survey ONS. Available at: [Annual Business Survey 2012 Provisional - ABS UK Non-Financial Business Economy \(Sections A-S\), 2008-2012 \(Excel sheet 1379Kb\)](#)

	2011	422	2,000	1,997	233
	2012	428	3,000	2,058	200
46.38 魚類、甲殻類、軟体動物を含むその他の食品卸売業	2008	1,827	21,000	5,021	924
	2009	1,737	16,000	5,263	873
	2010	1,692	16,000	5,647	812
	2011	1,676	15,000	5,785	845
	2012	1,609	17,000	6,111	696
46.39 食料品、飲料、たばこの非専門卸売業	2008	3,024	83,000	31,199	2,808
	2009	2,900	76,000	34,325	2,791
	2010	2,785	74,000	36,207	3,269
	2011	2,735	75,000	38,617	3,421
	2012	2,610	80,000	38,463	3,087

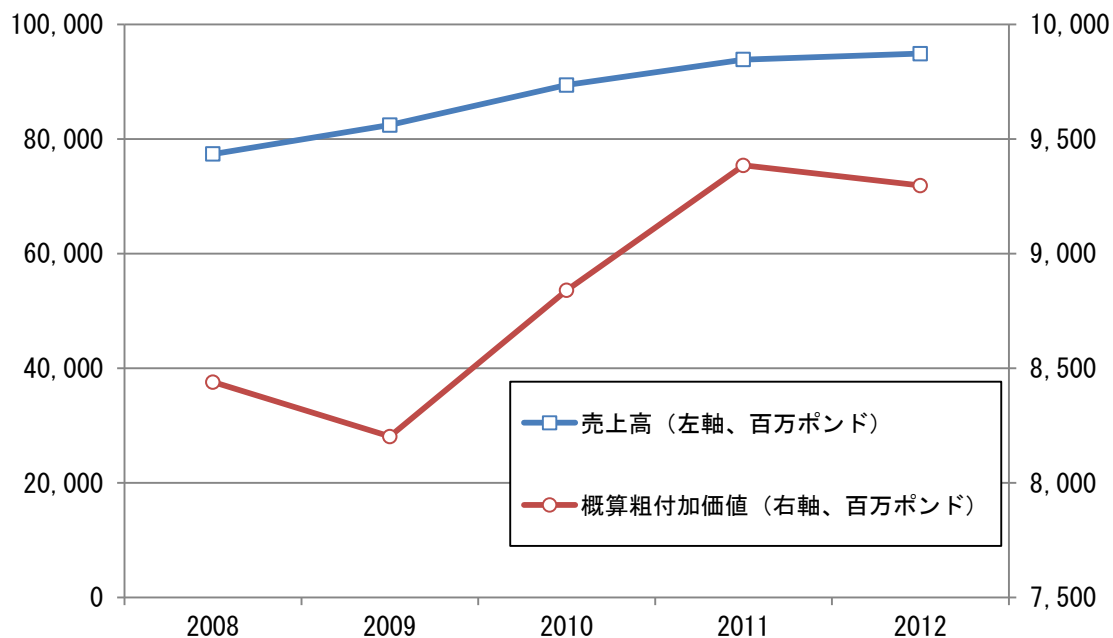
図 10：卸売業（食品／飲料）における雇用者数と企業数の推移、2008～2012 年⁵³



⁵³ Annual Business Survey ONS. Available at: [Annual Business Survey 2012 Provisional - ABS UK Non-Financial Business Economy \(Sections A-S\), 2008-2012 \(Excel sheet 1379Kb\)](#)

図 11：卸売業（食品及び飲料）における売上高と概算粗付加価値の変化、2008～2012 年

54



英国の食品卸売業における主要業者とその特徴

英国の食品卸売業で重要な業者は、販売内容や販売先など様々な方法で分類することができる。ONS の分類上では、非専門 (46.39) と専門 (46.31～38) に分類されるが、とりわけ非専門の分野は、食品流通研究所 (Institute of Grocery Distribution、略称：IDG) が提案する以下のカテゴリーのとおり、販売内容に従って細分類されている⁵⁴。

(a) **一般卸売業**：食品以外の家庭用品及びたばこを含む、全ての食料雑貨を取り扱う。「シンボルグループ」を介しての運営が増加している。シンボルグループとは、同じ「シンボル」を使用する独立小売業者で組織されるグループであり、日本でいうボランティア・チェーンに相当する。シンボルグループの例に SPAR が挙げられる。シンボルグループでは、独立小売業者間で集団を作り、購買規模の利益を得ることができる。

(b) **食品サービス卸売業**：学校や病院用の冷凍食品、料理人が使用する食材など、主に食品サービス業者への販売を行う。

⁵⁴ Annual Business Survey ONS. Available at: [Annual Business Survey 2012 Provisional - ABS UK Non-Financial Business Economy \(Sections A-S\), 2008-2012 \(Excel sheet 1379Kb\)](#)

⁵⁵ See IDG website: <http://www.igd.com/>

(c) 専門卸売業：ハイエンドな市場に対し、より限定された製品を供給する。

卸売業者による供給方法も一部の分類において参照されているほか、市場が拡大／多様化しており、より大きな企業は複数の方法で供給することもあるが、おおむね、以下に記載したとおりである⁵⁶。

(a)従来の卸売市場：多くの場合、専門業者が独立小売業者やその他の卸売業者、食品サービス業者などに対して大口で販売する。ロンドンで著名な卸売市場としては以下が挙げられる。

- Billingsgate (魚)
- Borough (果物、野菜)
- New Spitalfields (果物、野菜)
- Western International (果物、野菜)
- Smithfield (肉)
- New Covent Garden (果物、野菜)

また、全国に 19 の伝統的な地域卸売市場が存在する⁵⁷。

(b) キャッシュ&キャリー：販売方法等はスーパーと似ているが、登録した消費者しか購入できない。

(c) 配達卸売業：宅配の上販売を行う。

表 12：英国の卸売業における主要業者とその特徴

主要業者	特徴
<p>Palmer & Harvey http://www.palmerharvey.co.uk/</p> <ul style="list-style-type: none"> • 非専門・一般卸売業者 • 配達卸売業者 	<ul style="list-style-type: none"> • 英国で最大の配達卸売業者 • 年間売上高 42 億 3,300 万ポンド • 利益 3,700 万ポンド • 全国に 15 カ所の倉庫を持ち、9 万以上の店舗に供給 • 1 万 4,000 種類の常温、冷蔵、冷凍食品を扱う • 食品以外の製品も取り扱う（家庭洗濯用品、家庭用掃除用品、日用品、薬品） <p>日本食品の取り扱いについては確認できない。</p>
<p>Musgrave Group http://www.musgravegroup.com</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Londis（コンビニエンスストアチェーン、2,018 店舗展開、2013 年の売上高 14 億ユーロ）へ商品を提供

⁵⁶ Food and Drink Wholesaling in the UK, DEFRA, November 2008. Available at: <http://goo.gl/MXiUBX>

⁵⁷ Food and Drink Wholesaling in the UK, DEFRA, November 2008. Available at: <http://goo.gl/MXiUBX>

<ul style="list-style-type: none"> 非専門・一般卸売業者 配達卸売業者 	<ul style="list-style-type: none"> Budgens（スーパーマーケット、190 店舗展開、2013 年の売上高 6 億ユーロ）へ商品を提供 Musgrave MarketPlace（北アイルランドに 3 店舗、アイルランドに 7 店舗）及び Dialsur Cash & Carry（スペインに 17 店舗）への卸売販売 <p>日本食品の取り扱いについては確認できない。</p>
<p>Brakes Group http://www.brake.co.uk/</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品サービス卸売業者 配達卸売業者 	<ul style="list-style-type: none"> 年間売上高 26 億ポンド 80 店舗、従業員 1 万人以上 英国、アイルランド、フランス、スウェーデンにて事業展開 食品（冷蔵、冷凍、食品雑貨）、非食品、業務用厨房用品 2014 年 3 月、ロンドン郊外に位置するクロイドン市に初の専門食品市場を開店 <p>日本食品の取り扱いについては確認できないが、以下の商品を取り扱っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 醤油（Amoy、Blue Dragon） ➤ ごま油（Wing Yip） ➤ パン粉（「日本風パン粉」。Brakes の独自ブランドで 3.5kg 単位）
<p>Bidvest 3663 http://www.3663.co.uk</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品サービス卸売業者 配達卸売業者 	<ul style="list-style-type: none"> 売上高 20 億ポンド以上（2012 年度） 従業員 4,300 人（2013 年） 全国 35 店舗、地域流通センター 5 カ所、週に 5 万件を配達 <p>日本食品の取り扱い：</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Hanamaruki 味噌（1kg 当たり 7.12 ポンド、10kg 当たり 64.78 ポンド） ➤ Yutaka パン粉（10kg 当たり 59.62 ポンド） <p>日本風製品：</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 醤油（Amoy、Blue Dragon、Sharwood、Wing Yip、Lee Kum） ➤ うどん（日式鳥冬 - Fuku） ➤ Ocean Catch 日本風エビフライ（冷凍） ➤ The Authentic Food Company 和風の照り焼きチキン（冷凍）
<p>Booker http://www.booker.co.uk/</p> <ul style="list-style-type: none"> 非専門・一般卸売業者 キャッシュ&キャリー、配達卸売業者 	<ul style="list-style-type: none"> 2013 年 4 月～2014 年 3 月の年間売上高は 46 億 8,000 万ポンドうちキャッシュ&キャリーによる売上高は 34 億 1,000 万ポンド、配達による売上高は 12 億 7,000 万ポンド 全国 172 店舗 たばこによる売り上げが 15 億 1,000 万ポンドと全体の 3 割を占める 2014 年の The Grocer 主催の Gold Awards で Green Wholesaler of the Year（環境に優しい卸売業賞）を受賞 2012 年に、1 億 4,000 万ポンドの契約で競合して

	いた Makro 社を買収。Makro ブランドで全国 30 店舗展開
	Booker では日本食品の取り扱いについては確認できない。Marko では以下の日本製品を取り扱い： ➤ メロンリキュール・ミドリ（サントリーの商品、700ml で 16.79 ポンド） 日本風製品： ➤ 醤油（ Lee Kum ）
Bestway http://www.bestway.co.uk/ ● 非専門・一般卸売業者 ● キャッシュ&キャリアー	● 2013 年 7 月～2014 年 6 月の年間売上高 25 億 5,000 万ポンド、税引前利益 2 億 6,710 万ポンド ● イングランド内に 63 店舗 ● 卸売部門の売上高 23 億 8,000 万ポンド（2013 年は 23 億 4,000 万ポンド）、税引前利益は 5,430 万ポンド ● 2012 年、ペットフードと関連製品の「Best Pets」部門拡大の 1,000 万ポンド投資計画を開始 日本食品の取り扱いについては確認できない。
AF Blakemore & Son http://www.afblakemore.com/ ● 非専門・一般卸売業者 ● 配達卸売業者	● 年間売上高 11 億 3,500 万ポンド、利益 2,100 万ポンド（2013 年） ● 従業員数 7,878 人（2013 年） ● 1,100 店舗の SPAR（ボランタリーチェーン、イングランド中部、イングランド南東部、ウェールズ）、ガソリンスタンド、パブチェーン、病院へ商品を供給 ● 2011 年に Capper & Co、2013 年に Lowries Wholesale、2014 年には BA Cash & Carry、など競合の卸売業者を多数買収 日本食品の取り扱いについては確認できない。
Henderson Group http://www.henderson-group.com/ ● 非専門・一般卸売業者 ● キャッシュ&キャリアー、配達卸売業者	● 年間売上高 6 億 4,300 万ポンド、利益 2,800 万ポンド（2013 年） ● 従業員数 2,470 人（2013 年） ● 北アイルランドの SPAR、Eurospar、Vivo、Vivoxtra のフランチャイズに商品を供給 ● 80 店舗展開 ● 1897 年、バター、チーズ、卵を販売する小規模経営でベルファストに創始 日本製品： ➤ Kikkoman たまり醤油 日本風製品： ➤ 醤油（ Country Range、Blue Dragon、Sharwood ） ➤ Pacific West いかリングの天ぷら
CJ Lang & Son http://www.cjlang.co.uk/	● 2012 年 5 月～2013 年 4 月までの年間税引前利益は 126 万ポンド ● 610 万ポンドの資本支出計画を 2013 年度に開始

<ul style="list-style-type: none"> ● 非専門・一般卸売業者 ● 配達卸売業者 ● 小売店舗 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2014年4月までの年度の従業員数は2,081人（小売店に1,719人、経営／運営／流通に362人） ● SPAR（スコットランド）へ商品を提供 ● 同族企業 <p>日本食品の取り扱いについては確認できない。</p>
<p>James Hall & Co http://www.jameshall.co.uk/</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 非専門（一般食品雑貨） ● 配達卸売業者 	<ul style="list-style-type: none"> ● 540店舗のSPARへ商品を提供 ● 従業員数800人 ● 2013年3月までの年間売上は4億8,910万ポンド ● 2013年3月までの年間税引前利益は840万ポンド ● SPAR（イングランド北部）へ商品を提供 <p>日本食品の取り扱いについては確認できない。</p>
<p>Appleby Westward http://www.swspar.com/</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 非専門（一般食品雑貨） ● 配達卸売業者 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2013年12月までの年間売上高は1億3,400万ポンド ● 2013年12月までの年間税引前利益は37万8,000ポンド（前年と比較して65%減） ● SPAR（イングランド南西部）へ商品を提供 <p>日本食品の取り扱いについては確認できない。</p>

出典：Top Track 100 League Table 2014⁵⁸、Federation of Wholesale Distributors⁵⁹、テレグラフ⁶⁰、ロイター⁶¹、The Courier⁶²、The Grocer⁶³、⁶⁴ 企業情報ウェブサイト

1.3.2 小売業者

英国における食品小売業は、ここ数年では従来の「ビッグ4（大手スーパーマーケット）」による寡占状態から、購入手法の多様化によって大きく変化した。2008年の不況以後、消費者に見られた低価格志向はますます強固なものになり、その中での激しい価格競争により、食品小売業における競争はますます厳しいものとなっている。一部では、大手スーパーの低価格競争は業績不振による必要な投資の停滞を招き、最終的には業界に弊害をもたらすのではないかと懸念する声もある⁶⁵。

消費者の行動にも大きな変化が見られる。かつて英国の消費者は、週に一度大型スーパーマーケットで買い物をするスタイルが主流であったが、近年はオンラインやディスカウントスーパー等の複数の店舗をセール価格も含めて比較し、最もお得な店舗で購入するスタイルに変化しつつある。英国の食料雑貨市場の将来に関する政府公式報告書に、「消費者はコンビニエンスストアで『必要な品物を都度購入する』スタイルを非常に積極的に受

⁵⁸ Top Track 100 League Table 2014. Available at: <http://goo.gl/wEASJY>

⁵⁹ <http://www.fwd.co.uk/>

⁶⁰ <http://www.telegraph.co.uk/finance/newsbysector/retailandconsumer/9299323/Booker-buys-Makro-UK-in-140m-deal.html>

⁶¹ <http://uk.reuters.com/article/2014/09/18/uk-booker-group-results-idUKKBN0HD0LG20140918>

⁶² <http://www.thecourier.co.uk/business/news/ci-lang-confident-despite-further-profits-squeeze-1.195989>

⁶³ <http://www.thegrocer.co.uk/home/latest-news/spar-wholesaler-james-hall-reports-pre-tax-profit-hike/352969.article>

⁶⁴ <http://www.thegrocer.co.uk/home/latest-news/spar-wholesaler-james-hall-reports-pre-tax-profit-hike/352969.article>

⁶⁵ *The Future of the Grocery Sector in the UK*, RetailThinkTank, June 2014

け入れるようになったため、食料・生活雑貨分野において大型店で売り上げが低下し、繁華街の小型店にシフトしつつある⁶⁶⁾とあるように、コンビニエンスストアへのシフトが顕著な変化の一つとして挙げられる（注：ここでのコンビニエンスストアとは小型店舗のことであり、日本のコンビニエンスストアとは異なることに留意）。

以下、英国における小売業の最新統計データを示す。

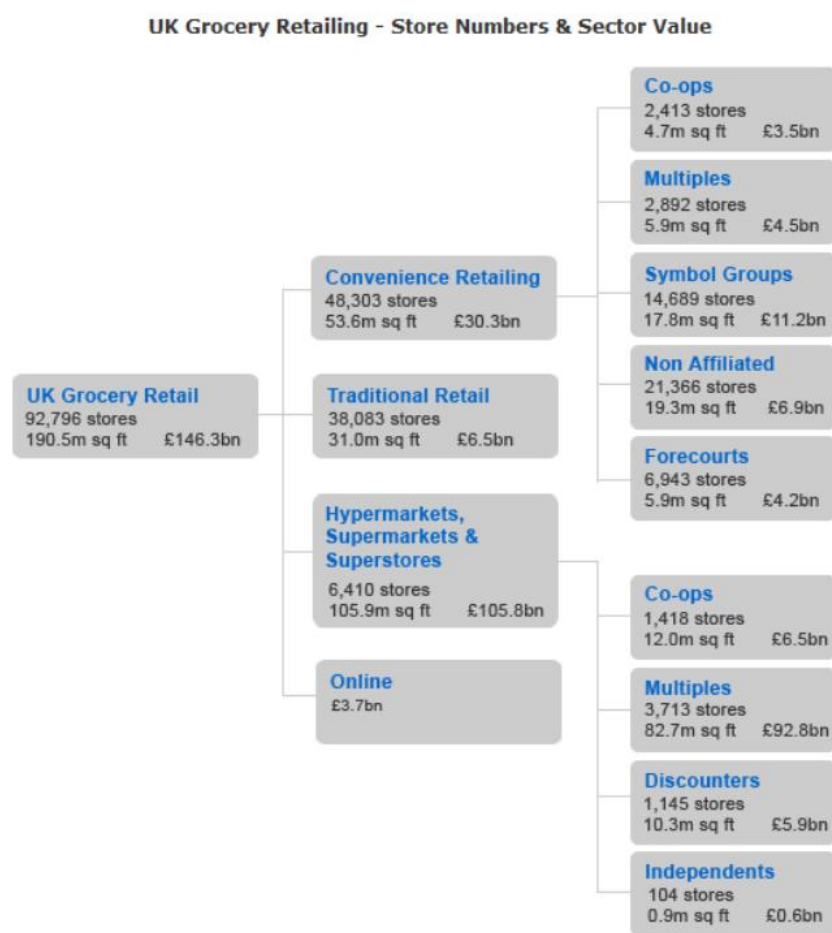
表 13：小売業統計（2012 年の年次企業調査から 2011 年統計）

分類	企業数	総雇用者数	売り上げ 総額 (百万ポンド)	概算粗付 加価値 (百万ポンド)
47.1 非専門店小売業	36,921	1,423,000	171,854	28,637
47.11 食料品、飲料、たばこを主とする非専門店小売業	28,622	1,127,000	144,179	22,823
47.19 その他の非専門店小売業	8,299	296,000	27,675	5,813
47.2 専門店による食料品、飲料、たばこの小売業	26,566	164,000	12,392	3,347
47.21 専門店による果物、野菜の小売業	3,467	18,000	1,024	234
47.22 専門店による肉、肉加工品の小売業	6,223	36,000	3,489	921
47.23 専門店による魚類、甲殻類、軟体動物の小売業	1,205	3,000	299	90
47.24 専門店によるパン、ケーキ、小麦粉菓子、砂糖菓子小売業	3,396	52,000	1,937	921
47.25 専門店による飲料小売業	4,691	21,000	2,627	508
47.26 専門店によるたばこ小売業	2,417	7,000	760	116
47.29 専門店によるその他の食料品小売業	5,167	28,000	2,256	557
47.3 専門店による自動車燃料小売業	3,332	42,000	16,434	1,859
47.4 専門店による情報通信機器小売業	3,282	42,000	5,295	718
47.5 専門店によるその他の家庭用機器小売業	23,981	248,000	29,982	6,438
47.6 専門店による文化・娯楽商品小売業	11,142	168,000	12,621	2,902
47.7 専門店によるその他の商品小売業	58,351	862,000	75,429	21,701
47.8 露店／市場による小売業	1,841	5,000	263	71
47.81 露店／市場による食料品、飲料、たばこの小売業	879	3,000	141	33
47.9 店舗、露店、市場以外の小売業	23,704	98,000	17,446	3,236
合計	189,120	3,052,000	341,716	68,908

⁶⁶⁾ Ibid.

以下に、小売市場の区分を図で示す。

図 12：小売市場の区分



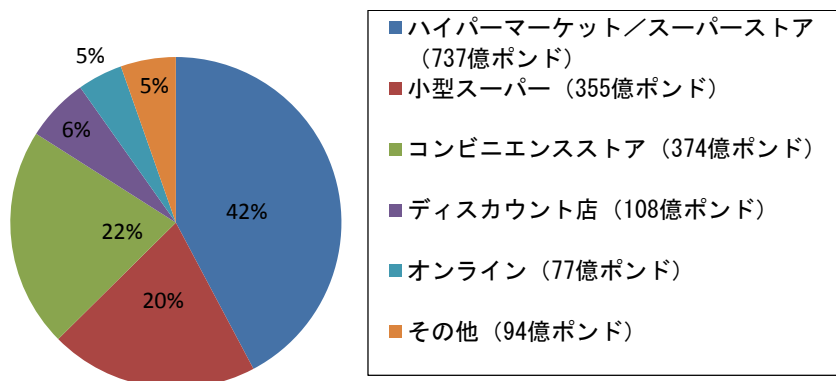
Source: IGD Research, 2009

上記図の業態ごとの 2014 年における売り上げ割合を、以下の円グラフに示す。

各業態の定義は以下のとおり。

ハイパーマーケット	販売面積 6 万 ft ² (約 5,600m ²) 以上の店舗。
スーパーストア	販売面積 2 万 5,000~6 万 ft ² (約 2,300~5,600m ²) の店舗。通常、食料・日用雑貨全般の豊富な品揃えを展開。
小型スーパー	販売面積 3,000~2 万 5,000ft ² (約 280~2,300m ²)
コンビニエンスストア	販売面積が 3,000ft ² (約 280m ²) 以下で、特に食品を中心に扱う店舗。
ディスカウント店	Aldi、Lidl、Poundland (食料雑貨の販売のみ)、99p stores (食品雑貨の販売のみ)
オンライン	オンライン上でのスーパー・オンライン専門店に対する食品・雑貨の売り上げ
その他	販売床面積が 3,000ft ² (約 280m ²) 以下のその他の店舗

図 13：英国の業態別食料・雑貨小売売上高（2014年）⁶⁷



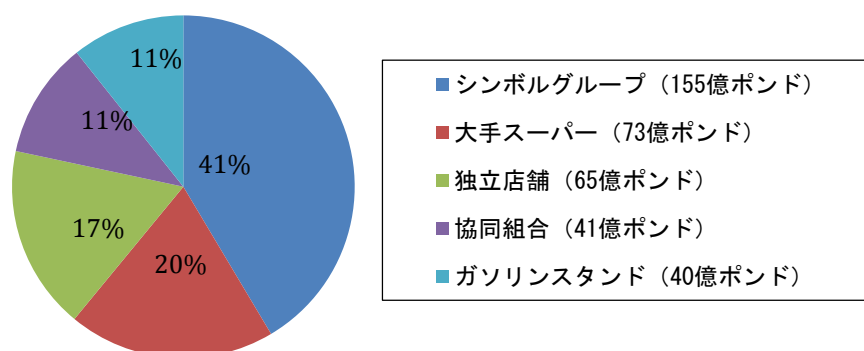
※なお、一部のチェーンについては、コンビニエンスストアの分類を導入していないことにより、小型スーパーのカテゴリに計上されている店舗がある。

コンビニエンスストア業態は、さらに以下のように細分化される⁶⁸。

シンボルグループ	1万7,080店舗、SPAR、Londis等（詳細は後述）
大手スーパー	3,771店舗、コンビニエンスストア専門店のほか、大手スーパーマーケットのコンビニエンス業態が含まれる。 （例：Tesco Express、Little Waitrose、Sainsbury's Local）
独立店舗	1万8,630店舗
協同組合	2,680店舗、Co-operative Groupはここに含む
ガソリンスタンド	5,133店舗

各業態の売上割合を以下の円グラフに示す。

図 14：コンビニエンスストア業態の売上高（2014年）⁶⁹



⁶⁷ UK Grocery Retailing, IDG Research, July 2014

⁶⁸ Convenience Retailing Factsheet, IDG Research, July 2014

⁶⁹ UK Grocery Retailing, IDG Research, July 2014

コンビニエンス業界における各業態の主要事業者

業態	事業者	特徴	日本食関連商品の取り扱い
シンボルグループ	SPAR	全国 2,400 店舗を展開。	ウェブサイト上では確認できない。
	Londis	1959 年創業、現在、Londis の PB 商品を取り扱う独立小売店を 2,000 店舗以上展開。2004 年、アイルランドの企業に買収される。2014 年、6,300 万ポンドの損失を計上。	ウェブサイト上では確認できない。
	Premier	Booker（卸売事業者、前述）グループ。全国に 2,400 店舗以上展開。	ウェブサイト上では確認できない。
大手スーパー	後述		
協同組合	The Co-operative Group	後述	後述
	The Southern Co-operative	イングランド南部において食品店経営者により組織。現在店舗数 196、従業員数は 3,500 人以上。The Co-operative Group と同じブランドの商品を取り扱うほか、地元の食材も取り扱い。2014 年営業利益は 1,060 万ポンド（食品以外も含む） ⁷⁰ 。食品の売り上げは 7.1% 増。	1.3.5 参照
ガソリンスタンド	—		—
独立店舗	—	—	—

コンビニエンスストア業態では取り扱い商品の種別が少なくなるため、日本製品はほとんど扱っていない場合がほとんどである。一部の独立店舗においては、地域住民のニーズと要求を踏まえて Tazaki Foods などの日系卸売業者から日本製品の供給を受け、取扱商品に加えているケースが見られるが、具体的データは存在しない。

日本食関連の小売業者

英国では近年、既存の日本食材小売店によるオンラインショップやインターネット専門の小売業者も登場するようになり、日本食関連商品の購入は以前より容易になった。とはいえ、英国における日本食材小売店の数は食品小売店全体と比較すればごくわずかであり、

⁷⁰ Southern Co-operative Annual Report 2014

公的に公表された統計データ等は存在しない。

以下、英国における日本食材小売店を紹介する（インターネット専門店も含む）。

表 14：日本食材を取り扱う小売店

小売店舗	店舗数	特徴
Japan Centre	2（全店舗ロンドン） ※オンラインショッピングも実施	ロンドン中心地域のピカデリーに店舗を構える欧州最大の日本食材小売店。食品に加え食器や書籍なども販売しており、日本人以外の来店・購入も多い。ロンドンで実施される日本をテーマとしたイベントとのクロスプロモーションも実施するほか、日本各地の地域特産展も定期的開催。オンラインショップでは欧州地域への配達にも対応。
Atari-Ya	4（全店舗ロンドン）	日本人による鮮魚店を発祥とする日本食材小売店。ロンドン郊外の日本人居住者の多い地域を中心に小売店を構えており、鮮魚のほか冷凍食品、新鮮な果物・野菜、調味料、惣菜、日本酒等の幅広い製品を取り扱う。和牛解禁後は和牛も販売。グループ内で日本食レストラン（Sushi-bar Atariya、店舗により持ち帰りも提供）4店舗と卸売業も展開。
Natural Natural	2（全店舗ロンドン）	ロンドン郊外の日本人居住者が多い地域に店舗を構える、日本人経営者による日本食材小売店。調味料、冷凍食品、ソフトドリンク、菓子類、日本酒などの幅広い日本食材のほか、魚や肉、青果も販売している。
TK Trading	1（ロンドン） ※出張販売、オンラインショッピングも実施	ロンドン郊外の日本人居住者が多い地域に店舗を構える日本食材小売店。幅広い日本食材を扱い、マンチェスター、カーディフなど英国各地で定期的に出張販売も実施。オンラインショッピングでは欧州地域への配送にも対応。日本の吉川商事の関係会社。
Rice Wine Shop	1（ロンドン） ※オンラインショッピングも実施	ロンドン中心地域のソーホー地区に店舗を構える日本人経営による小型日本食材小売店。米、冷凍食品、菓子類、日本酒、飲料、惣菜等の幅広い食材を取り扱う。オンラインショップの表示は日本語のみ。
Hello Kitchen	1（ロンドン）	ロンドン北部の日本人居住者が多い地域

	※オンラインショッピングも実施	に店舗を構える、日本人経営の独立小売店。ケータリング・寿司の持ち帰りも提供。オンラインショップの表示は日本語のみ。
Arigato	1 (ロンドン)	ロンドンの繁華街に位置する、小型小売店。菓子、冷凍食品、日本酒、ソフトドリンクなどを販売。弁当も取り扱い。
Jasmine Shop	1 (スウィンドン)	スウィンドン (ロンドンより西部) にあるホンダ開発株式会社のブティックホテル内にある小型日本食材小売店。菓子類、冷凍食品、酒類、ソフトドリンク等を取り扱う。ホテル内のレストランでは和食・焼肉も提供。
Samsi Express	1 (マンチェスター)	マンチェスターにある日本食レストラン内において、日本食材を販売する小型店舗を展開。
Tofu Cute	1 (ポーツマス)	Hyper Japan 等の日本文化イベントへの出展後、ロンドン南部のポーツマスに実店舗を開店。 文具や小物等の「カワイイ」商品の一環として、日本の菓子類を販売。
Japan Food Hall	インターネット専業	日本人経営によるオンライン専業の日本食材小売店として 2014 年に開業。欧州地域を販売対象とする。
Japanese Kitchen	インターネット専業	当初は実店舗を展開していたが、現在は閉店してオンラインショッピング専業。日本食材のほか、調理器具、食器、ケータリング用途の弁当容器等を販売。オンラインショッピングサイトは英語のみ。
Sushi Sushi	インターネット専業	英国人経営によるオンラインストア。寿司関連商品を中心に、調味料、菓子類、お茶、日本酒などの日本食材のほか、調理器具、食器類等も販売。オンラインショッピングサイトは英語のみ。
Mount Fuji International	インターネット専業	お茶、酒類、コメ、調味料等の日本食材のほか、食器類等も販売。 カーディフ及びバーミンガムにおいて日本食レストランも展開。

上記のほか、アジア食材専門店等においても、日本食材コーナーを設けて多数の商品を取り扱っているケースが見られる。英国における日本食関連のダイレクトリー『EAT JAPAN 2015』によると、少なくとも英国における 12 店舗のアジア食材店において、日本食品が販売されている⁷¹。

⁷¹ Eat-Japan 2015, Cross Media, January 2015

1.3.3 外食事業者

英国における外食産業の市場規模は、2014年6月に504億ポンドとなっており、前年同月比で2%増加している（ここにはレストランの他、パブ、職場／教育機関におけるケータリング業も含まれる）。レストランについて見ると、売り上げが0.8%減少したフルサービスのレストランを除き、5.5%増加したカジュアルダイニングを筆頭に、各分野において成長が見られた。

英国の日本食レストランに関する公的な統計は存在しないが、日本食ダイレクトリー『EAT-JAPAN 2014年版』⁷²によると、2014年1月時点での英国における日本食レストラン数は674店舗であり、その大多数がロンドンにある（434店、全体の64.4%）。ロンドン以外の日本食レストラン数は以下を参照。

表 15：ロンドン・全国の日本食レストラン数

地域	レストラン数	割合	うち、チェーン店 (%)
ロンドン	434	64.4%	139 (32.0%)
イングランド南東部	35	5.2%	18 (51.4%)
イングランド南西部	32	4.7%	15 (46.9%)
イングランド中部	25	3.7%	14 (56.0%)
イースト・アングリア	18	2.7%	4 (22.2%)
ミッドランド	28	4.2%	9 (32.1%)
イングランド北西部	28	4.2%	11 (39.3%)
イングランド北東部	30	4.5%	14 (46.7%)
スコットランド	31	4.6%	11 (35.5%)
ウェールズ	8	1.2%	4 (50.0%)
北アイルランド	5	0.7%	0 (0.0%)
合計	674		239 (35.5%)

※チェーン店：Itsu、Japanese Canteen、Wagamama、Wasabi、YO! Sushi を集計。

この統計によると、日本食レストランにおけるチェーン店の占める割合（ロンドンを含む）は、英国全土で平均約35.5%、ロンドンを含まない場合には42.0%となり、ロンドン以外の地域ではチェーン店の割合が高い傾向にある。

日本食レストランは英国全土に存在し、その数も毎年増えてきてはいるものの、まだ全人口に浸透しているとはいえない。Mintelの調査によると、民族料理店を利用したことがある英国人の中で、寿司などの日本食に「興味がない」と回答した割合は36%にのぼるといふ。同社の上級食品アナリスト、ヘレナ・チャイルド氏は『いくつかの食材に対する懸

⁷² Eat Japan Magazine, 2014 edition: <http://trade.eat-japan.com/download/EJ2014.pdf>

念が理由で、和食などの種類の料理への興味が抑えられてしまう。YO! Sushi が熱いラーメンの提供を開始して、和食に対する認識を迂回させようとした試みなどをみてもわかるように、和食は生魚に限られているという誤った認識に苦闘し続けている』と言及する⁷³。

寿司に限ってしてみると、Visit London のデータでは、YO! Sushi、Itsu、Wasabi などのチェーン店を含む寿司レストランがロンドンに 175 店舗あるという⁷⁴。ロンドンにおける寿司の受容認識を示す興味深い一例として、シティ（ロンドンの金融街）にある寿司レストラン、K10 の創業者は以下のように話す。

- 幼い子ども達が寿司を食べて気に入ってくれている。寿司の市場は確実に成長しており、今後も 2 世代にわたって成長し続けるだろう。
- 今寿司が置かれている状況は、20 年前にピザが置かれていた状況に似ている。寿司は、ピザほど市場が成長しておらず、これから全国的に展開されていく必要がある。その際生魚だけではなく、デザート用の寿司やコメを使用しない低炭水化物の寿司もあることを、人々に教えていく必要がある。非常に柔軟性がある、それが寿司という料理の美だ。
- 「純日本的な寿司」ではない融合商品の人気は今後も続いていく可能性が高いと確信している。比較的安価で利用しやすい YO! Sushi から Flesh and Buns まで、また、寿司以外のより創作的な料理を提供する流行のレストランまで、市場における区分けが進んでいくだろう。

なお、レストラン産業全般については、The Caterer/Ernst and Young による産業統計によると、2014 年の英国におけるレストラン総数が 2 万 3,514⁷⁵（ここではパブレストランを除く）、パブの総数が 4 万 9,953（食事を提供する店舗を含む）であった。前述の英国における日本食レストラン数 674 件という数は、英国のレストラン総数（パブは除く）の 2.9%に当たる。地域別の内訳は以下のとおり。

表 16：英国における地域別のレストラン、日本食レストラン数

地域	レストラン数	日本食レストラン数	日本食レストランの割合
ロンドン	6,468	469	7.3%
イングランド南西部	5,775	32	0.6%
ウェールズ	607	8	1.3%
ミッドランド	3,413	71	2.1%
イングランド北部	4,418	58	1.3%
スコットランド	2,237	31	1.4%
北アイルランド	596	5	0.8%

⁷³ *Healthy Hero from the Far East*, Foodservice Europe and Middle East, 1 October 2014

⁷⁴ *Ibid.*

⁷⁵ *Restaurant and Casual Dining Insight Report*, September 2014

※ 日本食レストラン数は、表 15 を以下のようにまとめて計上している。

- ・ ロンドン：ロンドン、イングランド南東部の合計
- ・ 北部：イングランド北東部、イングランド北西部の合計
- ・ ミッドランド：イングランド中部、イースト・アングリア、ミッドランドの合計

なお、日本食以外の各専門レストラン数に関しても、統計データ等にはほとんど現れていない。

例えばあるデータによると、ASK や Pizza Express などのチェーン店を含め、英国内にあるイタリア料理レストランは 5,000 件だという。Pizza Express だけでも英国内に 433 店舗が展開されており、この数はロンドンにある日本食レストランの数とほぼ同数である。

また、2008 年の政府議会報告書では、ロンドンには 2,100 件の「民族料理店」が存在し、うち「大部分 (1,200 以上)」がインド料理店または中華料理店であり、このような民族料理店の 68% が個人経営であるとしている。同報告書によると、英国内の中華料理ケータリング・小売販売店総数は 1 万 7,500 であり、そのうち 3 分の 2 が持ち帰りやケータリング用の店舗で、年間の総売上高は 50 億ポンド、従業員数 10 万人であるという⁷⁶。全国にあるインド料理店の推定数は 9,000～1 万、推定総価値は 25 億ポンドから 36 億ポンドまで幅がある⁷⁷。なお、英国内の大多数のインド料理店は、バングラデシュ人による経営であるといわれる。

1.3.4 ケータリング業

ケータリング業における企業数、雇用者数、売り上げ総額等は下表のとおり。

表 17：宿泊、飲食産業統計（2012 年の年次企業調査から 2011 年統計）

分類	企業数	総雇用者数	売上総額 (百万ポンド)	概算粗付加価値 (百万ポンド)
56.1 レストラン、移動式飲食業	63,712	765,000	25,402	12,061
56.2 催し場会場における仕出し業、その他の食品サービス業	7,967	212,000	8,902	4,655
56.21 催し場会場における仕出し業	6,267	195,000	8,224	4,382
56.29 その他の食品サービス業	1,700	17,000	678	273
56.3 飲料提供サービス業	43,498	484,000	19,291	8,436
合計	123,144	1,673,000	62,497	29,807

⁷⁶ *Managing Migration*, House of Commons Home Affairs Committee, 2008

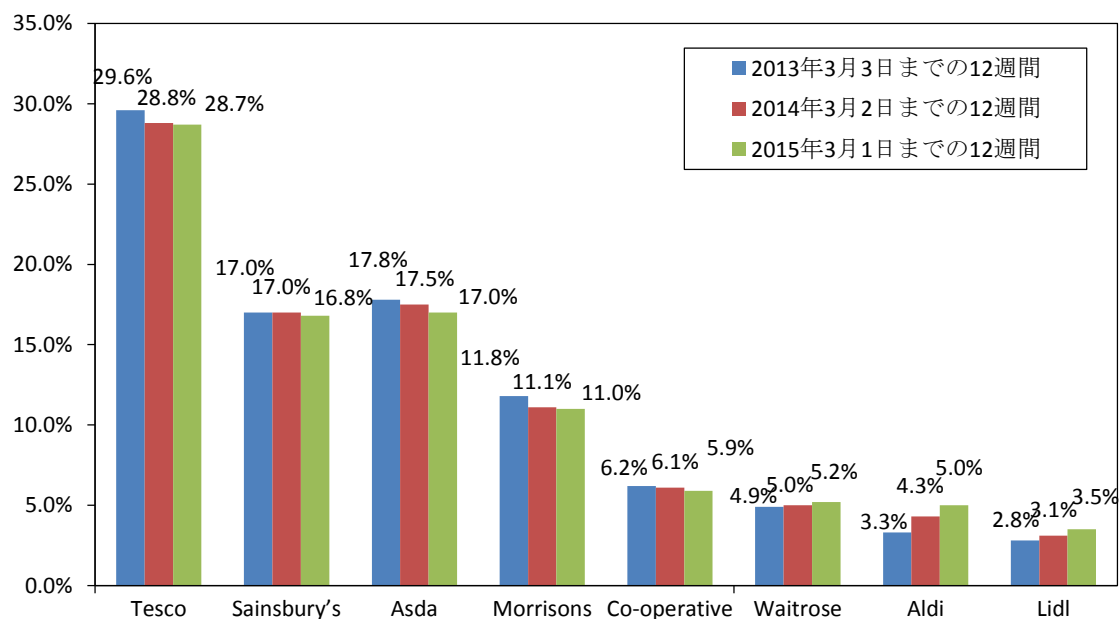
⁷⁷ *The Curry Crisis*, The Guardian, 8 January 2012

1.3.5 スーパーマーケット：ビッグ4+4

英国の食品小売市場は非常に寡占が進んでおり、「ビッグ4」と呼ばれる Tesco、Sainsbury's、Asda 及び Morrisons の4社がシェア全体の約7割を占める。しかし最近は、消費者がより高いコストパフォーマンスを求める傾向から、ビッグ4のシェアは低下傾向にあり、代わりに Aldi や Lidl といったドイツに本社を置くディスカウント系スーパーマーケットが急速に売り上げ・シェアを伸ばしている⁷⁸。2014年の Aldi 及び Lidl の売上高は、前年比でそれぞれ 22.6%及び 15.1%増加し、2015年3月時点のシェアはそれぞれ 5.0%及び 3.5%まで拡大している。

英小売市場調査会社 IGD の世論調査⁷⁹によると、英国人の 46%が「昨年に比べて買い物に出かける前に買う物や行く店の計画を立てるようになった」と回答しており、またメディアは「英国の実質賃金の 2010年からの継続的低下や家賃の値上がりが家計を圧迫している」と報じる⁸⁰など、英国人が出費に対して慎重になっている傾向が伺える。

図 15：英国の主要スーパーマーケットの市場シェア⁸¹



なお、2014年12月6日から2015年3月1日までの12週間の英国における消費者の食

⁷⁸ <http://www.ft.com/fastft/260632/half-of-uk-shoppers-visited-lidl-aldi-over-xmas>

⁷⁹ <http://www.igd.com/Media/IGD-news-and-press-releases/savvy-shopping-tactics-become-norm/>

⁸⁰ <http://www.theguardian.com/business/2014/aug/14/asda-boss-two-speed-uk-recovery>

⁸¹ <http://uk.kantar.com/consumer/shoppers/2015/january-kantar-worldpanel-uk-grocery-share-data/>

品・雑貨への支出総額は、前年同期比から 1.1%増加し、264 億 700 万ポンドであった。このうち、本項目で紹介する大手スーパーマーケット等での支出は 258 億 9,000 万ポンド（全体の 98.0%）で、残りの 5 億 1,700 万ポンド（同 2.0%）はシンボルグループ（Spar、Premier、Londis、Costcutter など）やその他独立店での支出であった⁸²。

(1)Tesco

概要⁸³

英国最大手のスーパーマーケットチェーンである Tesco の 2014 年の英国における売上高は、482 億ポンドと前年並みの水準を辛うじて確保するにとどまり、営業利益は 21 億 9,100 万ポンドと前年比 3.9%減少した。これまで英国のスーパーマーケット業界を牽引して来た同社であるが、近年は採算性の低下や財務虚偽報告の発覚などの試練が続いている⁸⁴。これらの要因の一つとして過度の店舗展開が指摘されており、同社は、主要ナショナルブランド商品の価格の値下げや既存店舗の閉店、新規出店計画を見直すなどの対応に追われている⁸⁵。また、業界の専門家は、シェアを拡大しているディスカウント系スーパーに対抗するためには、価格競争や固定費削減、また現時点ではディスカウント系スーパーが提供していないオンラインショッピングや配達サービスなどを強化する必要があると指摘している⁸⁶。

表 18 : Tesco の基本データ（英国のみ）

	2014 年	2013 年	2012 年
店舗数	3,146	3,378	2,979
従業員数	31 万 3,923 人	31 万 3,885 人	30 万 0,373 人
売上高	£482 億	£482 億	£474 億
営業利益	£21 億 9,100 万	£22 億 7,200 万	£24 億 8,000 万

日本食関連商品の取り扱い

Tesco では、一部の店舗を除き、日本食関連商品を比較的幅広く取り扱っている。なお、ロンドンの店舗においては、住民の人種や民族などに関するデータを収集し、日本食関連も含むエスニック食品の取り扱いを調整しているという⁸⁷。

※ 確認できた日本食関連商品の取り扱いについては、表 27 参照。

⁸² Christmas Sales a welcome boost for retailers, Kantar World Panel, 13 January 2015

⁸³ Tesco Annual Report, 2014,

⁸⁴ <http://www.independent.co.uk/news/business/comment/will-tescos-misreporting-finally-persuade-someone-anyone-to-act-9754392.html>

⁸⁵ <http://www.theguardian.com/business/2015/jan/04/tesco-2015-recovery-streamlining-strategy>

⁸⁶ Ibid.

⁸⁷ <http://www.retailgazette.co.uk/articles/12344-tesco-tailoring-food-for-an-ethnic-market>

(2)Sainsbury's

概要⁸⁸

Tescoと同様、Sainsbury'sもまた厳しい環境が続いている。年末商戦を順調に乗り切ったこともあり2014年の売上高は前年比2.8%増だったものの、夏の3カ月間の売り上げは1990年以降で最悪値を記録⁸⁹。2014年10月には、同社最高責任者が「小売業が過去30年間に経験した中で最も厳しい環境だ」⁹⁰と述べ、生活必需品の価格引き下げのために1億5,000万ポンドを投資する⁹¹などの見直し策が発表された。

なお、Sainsbury'sは、英国のスーパーマーケット業界で初めて小規模店舗マネージャーの経営スキル向上や接客のトレーニングを目的とした教育施設を設立するなど、都市型小規模店舗の拡大に力を入れていることも特徴である。

表 19 : Sainsbury's の基本データ

	2014年	2013年	2012年
店舗数	スーパー：592 コンビニエンスストア：611	スーパー：583 コンビニエンスストア：523	スーパー：560 コンビニエンスストア：440
従業員数	16万1,000人	15万7,000人	15万人
売上高	£264億	£256億	£245億
税引前利益	£7億9,800万	£7億5,800万	£7億1,200万

※ 確認できた日本食関連商品の取り扱いについては、表 27 参照。

(3)Asda

概要⁹²

米ウォルマートを親会社とするAsdaは、ビッグ4の中で最も堅調な業績を維持している。エネルギー効率の見直し(2,600万ポンドの投資)や流通コストの見直しといった経費削減策が功を奏し、2014年の売上高は228億ポンドと、前年比2%の増収となった⁹³。また、さらなる追加策として、食料雑貨品2,500点の価格を引き下げるとの計画を発表した⁹⁴。これは、AldiやLidlといったディスカウント系スーパーと、WaitroseやMarks & Spencerなどの高級志向を売りとするスーパーの中間層にある消費者を狙った戦略と見ら

⁸⁸ J. Sainsbury's Annual Report, 2014

⁸⁹ <http://www.theguardian.com/business/2014/oct/21/sainsburys-worst-performance-since-1990s-sales-slide>

⁹⁰ <http://www.theguardian.com/business/2014/oct/01/sainsburys-cuts-sales-forecast-supermarket-price-war>

⁹¹ <http://www.theguardian.com/business/2015/jan/06/asda-supermarket-price-war-resurgence-tesco>

⁹² Asda Annual Report 2014

⁹³ <http://www.theguardian.com/business/2014/oct/10/asda-supermarket-5-percent-profit>

⁹⁴ <http://www.theguardian.com/business/2015/jan/06/asda-supermarket-price-war-resurgence-tesco>

れる。

なお、2014年7月の時点で、Asdaの雇用者数は17万人、店舗数は578店舗である⁹⁵。

※ 確認できた日本食関連商品の取り扱いについては、表27参照。

(4)Morrisons

概要⁹⁶

Morrisonsにとっても、2014年は売上高、利益のいずれも減少するなど、苦難の1年であった。これを受け、2015年1月には最高経営責任者を解雇したほか⁹⁷、都市型コンビニエンスストアの増加と営業時間の延長を主軸に、他の小売店との差別化を図っている⁹⁸。英オンライン調査会社 YouGov が行った世論調査では、英国人の5人に1人が「朝9時前と夜8時以降に買い物をしたい」と回答しており、こういった通常営業時間外での買い物を希望する利用者を獲得しようという狙いが伺える。

表20：Morrisonsの基本データ

	2014年	2013年	2012年
店舗数	スーパー：503 コンビニエンスストア：102	スーパー：500 コンビニエンスストア：12	スーパー：475 コンビニエンスストア：0
従業員数	12万5,000人	12万9,000人	13万1,000人
売上高	£177億	£181億	£177億
税引前利益	£7億8,500万	£8億7,900万	£9億4,700万

※ 確認できた日本食関連商品の取り扱いについては、表27参照。

(5)Waitrose

概要⁹⁹

英国の高級老舗百貨店「John Lewis」を親会社に持ち、高級志向でビッグ4を含む競合他社との差別化を図る Waitrose は、2014年における売上高、営業利益、店舗数及び従業員数の全てにおいて前年比で増加しており、15の新規スーパーと23の小規模店舗（Little Waitrose）の出店を計画している。主要ターゲットは高所得者層であるが、一方

⁹⁵ Asda restructuring to cost 1,360 jobs, BBC News, 3 July 2014

⁹⁶ Morrisons Annual Report 2014

⁹⁷ <http://www.telegraph.co.uk/finance/newsbysector/retailandconsumer/11341564/dalton-philips-morrisons-quit-chief-executive.html>

⁹⁸ <http://www.thegrocer.co.uk/>

⁹⁹ Waitrose Annual Report 2014

で、敷居の高い高級スーパーであるという消費者印象からの脱却を狙って低価格商品の PB である「Essential Waitrose シリーズ」を拡大するほか、店舗で商品を購入したカード保有会員に対してコーヒーや紅茶、新聞を無料で提供するなど、競合他社への対抗策も展開する。同社代表のマーク・プライス氏は「消費者はもちろん Aldi や Lidl で低価格商品を購入することもあるが、一方でより幅広い品揃え、優れた品質、優れたサービスにもお金を投じる。双方両極端ではあるが、いずれも付加価値戦略である」と述べている¹⁰⁰。

表 21 : Waitrose の基本データ

	2014 年	2013 年	2012 年
店舗数	スーパー : 263 コンビニエンスストア : 42	スーパー : 255 コンビニエンスストア : 35	スーパー : 246 コンビニエンスストア : 31
従業員数	5 万 9,300 人	5 万 1,000 人	4 万 8,400 人
売上高	£61 億 1,190 万	£57 億 6,390 万	£50 億 7,000 万
営業利益	£3 億 110 万	£2 億 9,230 万	£2 億 6,060 万

※ 確認できた日本食関連商品の取り扱いについては、表 27 参照。

(6) Aldi

概要^{101,102}

近年、英国ではドイツ系ディスカウントスーパーである Aldi と Lidl の台頭が著しく、英調査会社 Kantar によると、2015 年 3 月の Aldi の市場シェアは Waitrose に次ぐ 5.0% に達した (表 27 参照)。英国の消費者は、以前は週に一度、大規模店舗で購入していたが、近年では複数の店舗を回ってより安価な商品を購入する傾向が強まっており、ディスカウントスーパーでは包装商品を、生鮮野菜や果物などは別の店舗で購入することが多くなっているようである。IDG 社は、英国におけるディスカウント市場の規模について、2014 年の 108 億ポンドから、2019 年には約 2 倍の 214 億ポンドまで拡大すると予測している¹⁰³。

現状、Aldi は一店舗当たりの平均アイテム数が 1,350 と、4 万種類以上を取り揃える大手スーパーと比較して大幅に商品ラインナップを絞って提供する店舗運営を取ってきたが、近年方針を転換、一つの店舗で全てが買える「フルストップ (完結型) ショップ」を目指し、さらに商品幅を広げている。また、超低価格商品のプライベートブランドである

¹⁰⁰ Changing the 'upmarket' perception of Waitrose; Mark Price, the head of Waitrose, discusses the retailer's transformation, The Telegraph, 27 December 2013

¹⁰¹ Aldi and Lidl: How big could the discounters get?, The Grocer, 9 August 2014

¹⁰² UK: Aldi enjoys bumper profits, Just Food, 30 September 2013

¹⁰³ Ibid.

「Specially Selected シリーズ」でキャビアやシャンパンを提供するなど、「ただ安いだけの店」という印象からの打開策も試みている。

表 22 : Aldi の基本データ

	2014 年	2013 年	2012 年
店舗数	510	471	446
従業員数	-	-	-
売上高	£53 億	£52 億	£38 億 9,000 万
税引前利益	£2 億 6,090 万	£1 億 7,210 万	-

なお、Aldi においては、通常販売商品において日本食関連商品の取り扱いの確認できない。

(7)Lidl

概要¹⁰⁴

Aldi と同じくドイツ発祥のディスカウントスーパーである Lidl もまた、順調にシェアを拡大している。2014 年の Lidl の利用者数は前年より 14%増加¹⁰⁵、2014 年のクリスマスシーズンには、英国人口の半数以上が Aldi または Lidl のいずれかを利用した。現在 Lidl は 635 店を展開しているが、今後は店舗数を 1,500 店まで拡大する予定である¹⁰⁶。Aldi と同様、品揃えは 1,500~1,600 種類と少ないが、Aldi よりも生鮮食品に注力しているのが特徴であり、2013 年には、低価格ながらも高品質な商品を提供していることを PR するため、Lidl の商品と他店の商品を併せて提供する試食プロモーション「Taste Test」を実施した。

通常販売される日本食関連商品は見られないが、2015 年 1 月、日本食を含むアジア料理を PR する「Lidl Asian Week 2015」が開催され、日本食関連では、海苔や米酢のほか、刺身包丁や鉄板焼き用グリルなどが販売された。なお、アジア関連の週間プロモーションは過去数年にわたって実施されているが、ここに日本食が登場したのは 2015 年が初めてである。

¹⁰⁴ Aldi and Lidl: How big could the discounters get?, The Grocer, 9 August 2014, www.lidl.co.uk, Half of UK shoppers visited Aldi, Lidl over Christmas, Financial Times, 10 January 2015

¹⁰⁵ Aldi and Lidl: How big could the discounters get?, The Grocer, 9 August 2014,

¹⁰⁶ Lidl's UK boss Ronny Gottschlich; The UK boss of the discount chain talks about success, the recession and why value and quality mean he will continue to take market share from the 'big four', Sunday Telegraph, 30 November 2013

表 23 : Lidl の基本データ

	2014 年	2013 年	2012 年
店舗数	635	600	-
従業員数	1 万 3,000 人	-	-
収益	£40 億 (予測)	£33 億	-
営業利益	-	-	-

図 16 : 「Lidl Asian Week 2015」 のチラシ



(8) The Co-operative

概要¹⁰⁷

The Co-operative は、協同組合方式で運営されることを大きな特徴とするスーパーマーケットチェーンである。近年は、高価格帯の商品を提供する Waitrose とディスカウント系スーパーの双方に挟み込まれる形で影響を大きく受けており、チェーンとしての競争力を高めるための戦略として、小規模の買い物を頻繁に行う利用者を取り込めるコンビニエンスストアタイプの小規模店舗の確保に注力し始めている¹⁰⁸。

なお、The Co-operative においては日本食品の取り扱いの確認できない。外国製の醤油や日本のペースト状のカレー風インスタントソース、「カツペースト」が、大型店のみで取り扱いがある程度である。

¹⁰⁷ Annual Reports 2013, 2012

¹⁰⁸ Co-op to take on 'Big Four' in space race for small stores, The Sunday Telegraph, 30 November 2014

表 24 : The Co-operative の基本データ

	2014 年	2013 年	2012 年
店舗数	未公表	2,779	2,816
従業員数	未公表	6 万 9,482 人	7 万 2,670 人
総収入	未公表	£72 億 4,000 万	£74 億 4,000 万
営業利益	未公表	£2 億 4,700 万	£2 億 6,900 万

(9)Iceland

概要¹⁰⁹

冷凍食品を主たる取り扱い商品として、ローコストオペレーションによる店舗運営を行う Iceland は、以前はディスカウント店とみなされていたが、最近は、Aldi や Lidl が台頭してきたことによりますます苦しい状況に追い込まれており、IDG 社の調査では、取扱商品ラインナップの不足も指摘されている。売り上げが伸び悩む中、オンラインショッピングや「クリック・アンド・コレクト（オンラインで予約し、店舗でピックアップする）」の取り扱いを開始したほか、取扱商品の拡大や、割引率を上げる等の各種打開策を実施している。また、従来の店舗に加えて、大型ショッピングセンター内に販売スペースを確保することにも注力している。

Iceland では日本食品の取扱いは確認できない。3 ポンドで販売されている家族向けサイズの「『日本風』チキン照り焼き炒め（冷凍）」が、日本食に最も近い商品である。（表 27 参照）

表 25 : Iceland の基本データ

	2014 年	2013 年	2012 年
店舗数	844	814	814
従業員数	2 万 5,500 人	2 万 5,000 人	2 万 4,000 人
売上高	£27 億 1,100 万	£26 億 4,000 万	£26 億 1,400 万
税引前利益	-	-	£1 億 8,430 万

¹⁰⁹ Iceland Annual Reports, 2012-2014

(10) Marks and Spencer (M&S)

概要^{110, 111}

百貨店にも位置づけられ、食品のほか衣料品等も販売する M&S は、2014 年 5 月時点で 18 四半期連続で売上高が増加するなど、業況は安定している。衣料品等の商品も販売しているため、通常スーパーマーケットの範囲には含めないが、そのシェアはおよそ 3~4%程度であると推察される¹¹²。同社は「我々はスーパーではなく食品専門家である」との経営戦略から、品質の革新や新商品の開発などに注力している。英国における 798 店舗のうち、185 店舗（全体の 23.2%）が自社の「Simply Food（食品のみの取り扱い）」業態による経営で、262 店舗（同 32.8%）はフランチャイズによる経営である。

表 26 : Marks & Spencer の基本データ

	2014 年	2013 年	2012 年
店舗数（英国）	798	766	731
従業員数	8 万 5,813 人	8 万 1,734 人	8 万 1,000 人
総収入（英国）	£91 億 5,570 万	£89 億 5,140 万	£88 億 6,820 万
営業利益（英国）	£6 億 1,920 万	£6 億 5,840 万	£6 億 7,660 万

※ 確認できた日本食関連商品の取り扱いについては、表 27 参照。

¹¹⁰ 2013/2014 Full Year Results, Chief Executive Presentation

<http://corporate.marksandspencer.com/investors/3145f21ec17a4349bdfde92877433296>

¹¹¹ Annual Report 2014 <http://corporate.marksandspencer.com/investors/b73df1d3e4f54f429210f115ab11e2f6>

¹¹² <http://www.retail-week.com/sectors/food/grocery-market-booms-as-heat-wave-drives-sales/5051618.article>

表 27：英国の主要スーパーマーケットにおける日本食関連商品の取り扱いについて

※ 以下はあくまで確認できた限りにおいて示すものであり、この他にも取扱商品がある可能性がある。

※ 英国における日本食関連商品の受け入れ状況を示すものであるため、非日系企業による醤油等も取り上げている。

【Tesco】

商品名	カテゴリー	価格	内容量
Amoy Udon Noodles	ドライフード	£ 0.89	300g
Beaver Wasabi Horseradish Extra Hot	調味料	£ 3.75	354g
Blue Diamond Wasabi & Soy Sauce Almonst	スナック	£ 1.49	70g
Blue Dragon Teriyaki Marinade	調味料	£ 1.65	150ml
Doragon Sake	アルコール	£ 5.00	50cl
Food Doctor Crisp Thins Hot Wasabi	スナック	£ 0.75	23g
House Chilli Pepper 7 Spice Shichimi	調味料	£ 1.50	18g
House Wasabi Paste	調味料	£ 1.50	43g
Innocent Japanese Noodles Pot	レディーミール	£ 3.90	380g
Itsu Miso Soup	インスタント食品	£ 2.00	3x25g
Itsu Miso Soup Vegetable	インスタント食品	£ 2.00	3x25g
Kabuto Noodles, various flavours	インスタント食品	£ 1.99	85g
Kenko Japanese Mayonnaise	調味料	£ 4.50	500g
Kikkoman Instant White Miso Soup Mix	インスタント食品	£ 2.40	30g
Kikkoman Sauce for Rice Sweet	調味料	£ 2.60	250ml
Kikkoman Seasoning for Sushi	調味料	£ 3.00	300ml
Kikkoman Sushi and Sashimi Soy Sauce	調味料	£ 2.60	250ml
Kikkoman Sushi and Sashimi Soy Sauce	調味料	£ 6.00	1kg
Kikkoman Yakitori Sauce	調味料	£ 2.60	250ml
Kirin Ichiban	アルコール	£ 1.79	330ml
Lotte Chocolate Filled Koala Shaped Biscuits	スナック	£ 1.50	50g
Marukyo Red Bean and Chestnut Dorayaki Pancake	スナック	£ 1.50	70g
Marukyo Soft Red Bean Funwariyaki Pancake	スナック	£ 1.50	55g
Nagai Roasted Seaweed Sushi Nori	ドライフード	£ 1.50	385g
Nishiki Premium Grade Rice	ドライフード	£ 12.00	4.54kg
Nissin Demae Ramen, beef	ドライフード	£ 0.45	100g
Nissin Demae Ramen, chicken	ドライフード	£ 0.45	100g
Nissin Demae Ramen, seafood	ドライフード	£ 0.45	100g
Nissin Demae Ramen, sesame	ドライフード	£ 0.45	100g
Nissin Demae Ramen, spicy	ドライフード	£ 0.45	100g

Nissin Demae Ramen, tonkotsu	ドライフード	£ 0.45	100g
Nissin Soba Chilli Instant Noodles	ドライフード	£ 1.39	92g
Nissin Soba Classic Instant Noodles	ドライフード	£ 1.39	90g
Nissin Soba Teriyaki Instant Noodles	ドライフード	£ 1.39	90g
Orient Udon Noodles	ドライフード	£ 2.00	200g
Santa Maria Teriyaki Seasoning	調味料	£ 1.60	50g
Sapporo Premium Beer	アルコール	£ 2.79	650ml
Sato-no-yuki Tofu	ドライフード	£ 1.90	300g
The City Kitchen Chicken Katsu Curry	レディーミール	£ 3.80	28g
Three Tigers Wasabi Peas	スナック	£ 2.00	200g
Wel Pec Dried Wakame Seaweed	ドライフード	£ 1.50	56.7g
Yamamotoyama Brown Rice Tea Bags	茶	£ 1.70	48g
Yamamotoyama Green Tea Bags	茶	£ 1.70	32g
Yutaka Japanese Mirin	調味料	£ 1.59	150ml
Yutaka Japanese Wasabi Paste	調味料	£ 1.99	43g
Yutaka Red Miso Soup	インスタント食品	£ 1.50	50g
Yutaka Soba Noodles	ドライフード	£ 1.29	250g
Yutaka Sushi Ginger	調味料	£ 1.99	190g
Yutaka Sushi Nori	ドライフード	£ 1.79	11g
Yutaka Sushi Rice	ドライフード	£ 1.99	500g
Yutaka Udon Noodles	ドライフード	£ 1.29	250g
Yutaka Yellow Miso Soup	インスタント食品	£ 1.50	50g
Chicken Teriyaki Noodles	レディーミール	£ 1.50	375g
Edamame and Wasabi Chunky Dip	レディーミール	£ 1.25	200g
Edamame Bean Straws	冷凍食品	£ 2.00	174g
Large Fish Selection Sushi	レディーミール	£ 3.30	218g
Large Limited Edition Chicken and Duck Sushi Selection	レディーミール	£ 3.30	205g
Large Mixed Sushi	レディーミール	£ 3.30	189g
Medium Smoked Salmon Sushi Selection	レディーミール	£ 2.40	143g
Miso Paste	調味料	£ 1.49	100g
Rice Crackers	スナック	£ 0.99	200g
Straight to Wok Udon Noodles	レディーミール	£ 1.00	300g
Ultimate Salmon Selection Sushi	レディーミール	£ 5.00	262g
Wasabi Mix	スナック	£ 1.49	175g
Wasabi Flavour Jumbo Peanuts	スナック	£ 0.99	200g
Chilli Men Paste	調味料	£ 2.29	185g
Mirin Seasoning	調味料	£ 1.99	150ml
Panko Breadcrumbs	ドライフード	£ 1.59	150g
Rice Wine Vinegar	調味料	£ 1.99	150ml
Tempura Batter	ドライフード	£ 1.79	250g
Teriyaki Sauce	調味料	£ 2.39	150ml
Udon Noodles	ドライフード	£ 1.49	250g

Yakitori Marinade	調味料	£ 1.69	95g
Roasted Snack Mix with Edamame and Wasabi Peas	スナック	£ 0.49	30g
Katsu Curry Bakes (x2)	レディーミール	£ 2.25	300g
Mango, Pineapple and Yuzu Yoghurt	デザート	£ 1.50	400g
Teppanyaki Paste with Lime and Mirin Splash	調味料	£ 1.25	90g

【Sainsbury's】

商品名	カテゴリー	価格	内容量
Doragon Sake	アルコール	£ 6.50	70cl
Hakushu Distillers Reserve Malt Whisky	アルコール	£ 42.00	70cl
Innocent Noodle Pot Japanese Ramen	レディーミール	£ 3.30	380g
Yamazaki Distillers Reserve Whisky	アルコール	£ 42.00	70cl
Yutaka Black Roasted Sesame Seeds	ドライフード	£ 1.69	100g
Yukata Miso Soup	インスタント食品	£ 1.60	5x18g
Yutaka Nigiri Sushi Maker	調理器具	£ 1.69	Unit
Yutaka Organic Miso Paste	調味料	£ 2.99	300g
Yutaka Organic Tamari Soy Sauce	調味料	£ 2.19	150ml
Yukata Panko Breadcrumbs	ドライフード	£ 1.99	180g
Yutaka Soba Noodles	ドライフード	£ 1.29	250g
Yutaka Sushi Ginger	調味料	£ 1.99	190g
Yutaka Sushi Nori	ドライフード	£ 1.79	11g
Yukata Sushi Rice	ドライフード	£ 1.99	500g
Yutaka Sushi Rolling Mat	調理器具	£ 1.99	unit
Yutaka Udon Noodles	ドライフード	£ 1.29	250g
Yutaka Wasabi Paste	調味料	£ 1.99	43g
Yutaka Yuzu Seasoning Sauce	調味料	£ 2.99	100ml
Dried Shiitake Mushrooms	ドライフード	£ 2.99	50g
Miso Paste	調味料	£ 1.50	100g
Rice Vinegar	調味料	£ 1.85	150ml
Tempura Batter Mix	ドライフード	£ 1.29	128g

【Asda】

商品名	カテゴリー	価格	内容量
Amoy Straight to Wok Thick Udon Noodles	ドライフード	£ 1.49	300g
Blue Dragon Teriyaki Marinade	調味料	£ 1.68	150ml
Blue Dragon Teriyaki Stir Fry Sauce	インスタント食品	£ 0.99	120g
Clearspring Japanese Rice Cakes Black Sesame	スナック	£ 2.99	150g
Clearspring Organic and Gluten Free Japanese Tamari Soya Sauce	調味料	£ 2.80	150ml
Clearspring Organic Japanese Green Tea Sencha Tea Bags	茶	£ 3.59	85g
Kikkoman Less Salt Soy Sauce	調味料	£ 2.48	150ml

Kikkoman Soy Sauce	調味料	£ 2.48	150ml
Maggi So Sticky Teriyaki Chicken Packet Mix	調味料	£ 0.94	54g
Naked Noodle Ramen Noodle Soup Miso	インスタント食品	£ 1.00	50g
Naked Noodle Teriyaki Flavour Stir-fry Noodles	ドライフード	£ 1.19	120g
Sharwood's Thick Udon Noodles	ドライフード	£ 1.48	300g
Yutaka Japanese Rice Vinegar	調味料	£ 1.63	150ml
Yutaka Japanese Wasabi Paste	調味料	£ 1.89	43g
Yutaka Miso Soup	インスタント食品	£ 1.59	90g
Yutaka Sushi Mat	調理器具	£ 1.28	Unit
Yutaka Sushi Ginger	調味料	£ 1.89	190g
Yutaka Sushi Kit	レディーミール	£ 3.99	260g
Yutaka Sushi Nori	ドライフード	£ 1.63	11g
Yutaka Sushi Rice	ドライフード	£ 1.89	500g
Yutaka Tempura Batter Mix	ドライフード	£ 1.89	150g
Katsu Chicken Noodles	レディーミール	£ 2.80	410g
Udon Noodles	ドライフード	£ 1.48	250g
Teriyaki Chicken Noodles	レディーミール	£ 2.00	350g

【Morrisons】

商品名	カテゴリー	価格	内容量
Blue Dragon Sushi Ginger	調味料	£ 1.99	145g
Blue Dragon Sushi Meal Kit	レディーミール	£ 4.99	TBC
Blue Dragon Sushi Nori Sheets	ドライフード	£ 1.99	11g
Blue Dragon Sushi Rice	ドライフード	£ 1.29	500g
Blue Dragon Teriyaki Marinade	調味料	£ 1.39	150ml
Blue Dragon Teriyaki Sauce	インスタント食品	£ 1.59	440g
Blue Dragon Wasabi Paste	調味料	£ 1.99	45g
Kikkoman Soy Sauce	調味料	£ 2.49	150ml
Kikkoman Teriyaki Marinade	調味料	£ 2.79	250ml
Sanchi Tamari Soy Sauce	調味料	£ 2.50	150ml
Tiger Tiger Teriyaki Stir-in Sauce	インスタント食品	£ 1.39	150ml
Yutaka Instant Miso Soup	インスタント食品	£ 0.69	6.5g
Yutaka Instant Vegetable Soup	インスタント食品	£ 0.69	7.5g
Yutaka Rolling Mat	調理器具	£ 0.69	Unit
Yutaka Sushi Nori	ドライフード	£ 1.29	5g
Yutaka Sushi Rice	ドライフード	£ 1.29	500g
Yutaka Udon Noodles	ドライフード	£ 1.29	250g
Yutaka Wakame Miso Soup	インスタント食品	£ 1.49	90g
Wok Ready Udon Noodles	ドライフード	£ 1.00	300g

【Waitrose】

商品名	カテゴリー	価格	内容量
Amoy Teriyaki and Sesame Seed Sauce	レディーミール	£ 0.99	120ml
Blue Diamond Almond Wasabi & Soy Sauce	スナック	£ 1.49	70g
Kabuto Noodles, various flavours	インスタント食品	£ 1.99	85g
Clearspring Organic Miso Soup Paste	インスタント食品	£ 2.35	4x15g
Clearspring Organic Miso Soup with Tofu	インスタント食品	£ 3.35	4x10g
Clearspring Organic Miso Soup with Sea Veg	インスタント食品	£ 3.35	4x10g
Clearspring Organic Brown Rice Miso	調味料	£ 4.00	300g
Clearspring Miso Soup with Sea Veg	インスタント食品	£ 3.35	4x10g
Clearspring Sweet White Miso	調味料	£ 4.00	250g
Clearspring White Miso Soup Paste	インスタント食品	£ 2.35	4x15g
Clearspring Sushi Mat	調理器具	£ 2.00	N/A
Clearspring Organic Sushi Rice	ドライフード	£ 2.00	500g
Clearspring Sushi Nori	ドライフード	£ 3.05	7 sheets
Clearspring Sushi Ginger	調味料	£ 2.35	50g
Clearspring Organic Teriyaki Sauce	調味料	£ 2.49	150ml
Clearspring Brown Rice Udon	ドライフード	£ 2.49	200g
Clearspring Organic Tofu	ドライフード	£ 1.85	300g
Clearspring Green Tea Sencha	茶	£ 3.59	40g
Clearspring Organic Tamari Soya Sauce	調味料	£ 2.89	150ml
Clearspring Matcha Green Tea	茶	£ 3.99	40g
Itsu Miso Instant Soup	インスタント食品	£ 2.00	3x25g
Itsu Miso Instant Soup (Vegetarian)	インスタント食品	£ 2.00	3x25g
Itsu Chocolate Edamame	スナック	£ 1.00	70g
Itsu Crispy Seaweed Thins Wasabi Flavour	スナック	£ 1.95	3x5g
Itsu Crispy Seaweed Thins Wasabi Flavour	スナック	£ 1.00	5g
Kikkoman Marinade and Sauce	調味料	£ 2.79	250ml
Lee Kum Kee Teriyaki Sauce	レディーミール	£ 1.80	200g
Taiko Sushi Platter	レディーミール	£ 26.00	1.2kg
Taiko Sushi Canape Platter	レディーミール	£ 26.00	1.0kg
Taiko Sushi Ryori Sushi	レディーミール	£ 5.00	310g
Taiko Sushi Fuji Set	レディーミール	£ 6.00	332g
Taiko Sushi Salmon Sashimi Don	レディーミール	£ 5.50	255g
Taiko Bento Teriyaki Salmon Bento	レディーミール	£ 4.00	185g
Taiko Bento Chicken Katsu Bento	レディーミール	£ 3.50	191g
Taiko Sushi Akane Sushi Set	レディーミール	£ 4.00	216g
Taiko Sushi Simple Snack Sushi	レディーミール	£ 1.40	87g
Taiko Sushi Mini Nigiri Sushi Set	レディーミール	£ 2.70	113g
Taiko Sushi Nigiri Sushi Set	レディーミール	£ 4.00	159g
Taiko Sushi Komachi Set	レディーミール	£ 2.60	104g
Taiko Sushi Salmon Wrap	レディーミール	£ 2.00	144g

Taiko Sushi California Sushi	レディーミール	£ 3.70	200g
Taiko Sushi Vegetable Sushi	レディーミール	£ 5.25	256g
Taiko Lightly Salted Edamame	インスタント食品	£ 2.00	150g
Taiko Sushi Edamame	スナック	£ 1.15	75g
Sawanotsuru Deluxe Sake	アルコール	£ 11.20	720ml
Yutaka Edamame Soyabean with Pod	冷凍食品	£ 2.39	500g
Katsu Curry Recipe Kit	レディーミール	£ 3.99	-
Yaki Soba Recipe Kit	レディーミール	£ 3.99	-
Dashi	インスタント食品	£ 2.99	500g
Japanese Vinegar	調味料	£ 3.08	250ml
Mirin Rice Wine	調味料	£ 4.47	250ml
Panko Breadcrumbs	ドライフード	£ 2.49	150g
Sundried Shiitake Mushrooms	ドライフード	£ 2.00	25g
Sushi Rice	ドライフード	£ 1.59	500g
Tempura Batter	ドライフード	£ 1.39	128g
White Miso Glaze	調味料	£ 1.99	200g
Yakitori Sauce	調味料	£ 1.99	170ml
Yuzu Juice	調味料	£ 4.59	60ml
Wasabi & Ginger Popcorn	スナック	£ 0.80	25g
Teriyaki Chicken and Noodle Salad	レディーミール	£ 3.50	250g
Chicken Katsu Curry & Jasmine Rice	レディーミール	£ 3.99	385g
Pea, Edamame and Chilli Soup	インスタント食品	£ 2.49	600g
Chicken Katsu & Quinoa Soup	レディーミール	£ 2.49	600g
Adzuki and Edamame Bean Salad	インスタント食品	£ 1.99	200g
Edamame and Pea Dip	インスタント食品	£ 1.69	200g
Edamame Bean Salad	ケータリング	£ 7.00	700g
Mixed Rice, Edamame & Vegetable Salad	ケータリング	£ 7.00	650g
Teriyaki Sauce	調味料	£ 2.49	250ml

【Iceland】

商品名	カテゴリー	価格	内容量
Japanese Seabass Fillets with Lemon & Parsley Sauce	冷凍食品	£ 3.00	240g
Chicken Teriyaki Stir Fry	冷凍食品	£ 2.00	800g

【Marks & Spencer】

商品名	カテゴリー	価格	内容量
Sol Lucet Koshu 2013 Vintage	ワイン	£ 77.94	750mlx6
Sol Lucet Koshu 2013 Vintage	ワイン	£ 12.99	750ml
Teriyaki Salmon	レディーミール	£ 4.75	-
Crispy Katsu Chicken Curry with Fragrant Rice	レディーミール	£ 4.75	-
Miso Yaki Chicken Noodles	レディーミール	£ 4.75	-

2.1 ロンドンにおける消費者の需要とトレンド

2014年の英国における外食産業の市場規模は335億ポンドと推定され、うち、ブランドチェーン店のダイニング市場が164億ポンドを占める¹¹³。一方、英国各地には、ブランドチェーン店の約8倍の数の独立レストラン店舗が存在しており、とりわけ中小規模のレストランでは、確固たるコンセプトを持った新しいレストランによる多くの取組みが行われている¹¹⁴。

NDPグループの調査によると、2014年の時点で、カジュアルダイニングがレストラン産業の牽引役となっており、年間利用者数は4,700万人と2009年比で11.6%増加している。それに対し、フルサービスのレストランは2009年3月末以来利用者数が11.4%減少しており、2008年の経済危機およびそれに伴う可処分所得の低下を背景に、低価格のカジュアルダイニングレストランへのシフトが起こっていることは明らかである。ちなみに夕食の平均支出額は、カジュアルダイニングレストランでは1人11.50ポンド、ファストフードでは同5.04ポンド、フルサービスのレストランでは同15.70ポンドである¹¹⁵。なお、全てのレストランにおける、1回の飲食当たりの平均支出額は2013年で8.70ポンド（2012年では8.45ポンド）であり、フルサービスレストラン以外の分野ではそれぞれ増加しているという¹¹⁶。

一方で、英国ではレストラン利用回数も増加しており、2012年と比較すると2014年は1.3%の増加、とりわけカジュアルダイニングでは、2.6%増加しているという。なお、チェーン展開のレストランの利用回数が、2013～2014年にかけて5%増加している一方で、独立レストランでは3%減少しているという¹¹⁷。

NDPグループによると、日本食も含むエスニック料理のセクターではテークアウェイ・デリバリーを含めた外食の2012年の総利用者数は、2009年と比較すると1億2,300万人減少したが、この減少のうち1億2,170万人はテークアウェイ・デリバリーによって占められており、日本食レストランがテークアウェイ・デリバリーを実施しているケースが少ないことを鑑みれば、この利用者減少により大きな影響を受けたのは主として中華及びインド料理レストランであろうと考えられる¹¹⁸。

¹¹³ Restaurant and Casual Dining Insight Report September 2014, The Caterer

¹¹⁴ 同上

¹¹⁵ 同上

¹¹⁶ 同上

¹¹⁷ 同上

¹¹⁸ <https://www.npdgroup.co.uk/wps/portal/npd/uk/news/press-releases/uks-ethnic-restaurants-lose-123-million-visits-between-2009-and-2012/>

以下、とりわけここ数年において、ロンドンで見られる主なトレンドを紹介する。

(1) ストリートフード（屋台料理）

英国でのストリートフードは、生産者が屋台で食材を調理して販売するファーマーズマーケットの延長として始まった。ストリートフードの屋台は初期コストが非常に低いため、若手の起業家にとって魅力的なものとなっている。PR 戦略の面においても、ストリートフード店の多くは、ウェブサイトを開設する代わりにソーシャルメディアを多く利用しており、中にはソーシャルメディアを通じてのみ所在地を公表することで、PR を図っている業者も存在する¹¹⁹。

2013年6月、ロンドン市長は、ストリートフード業者を含む小規模食品事業者を、低コスト融資を通して支援する構想を支持することを表明した¹²⁰。英国におけるストリートフード市場は、英国ストリートフード賞（British Street Food Awards）という賞が設けられるほどに発展しており¹²¹、2014年、バーミンガムのストリートフード店 Original Patty Men は Sumo-Gyu Dare ハンバーガー（牛肉パティのマリネ、サクサクの唐辛子オニオン、キュウリのリボン、わさびケチャップ、ごま油、もやし、クレソンサラダを、ゴマをまぶしたパンにはさんだハンバーガー）で、ベストハンバーガー賞を受賞した。

現在、英国におけるストリートフード市場に関する包括的データはないが、ストリートフード業者にとって必要不可欠な情報（当然ながら実店舗と同じ安全衛生規則を遵守する必要がある）を提供するために外食産業協会（Nationwide Caterers' Association、NCA）が開設したウェブサイト（Streetfood.org.uk）には、店舗については事業者による登録制であるものの、ロンドンでストリートフード店が集中して存在する 50 の市場¹²²を表示した地図が公開されている。NCA は、英国内では約 2,000 のストリートフード業者が運営していると推定しており、2013 年度の NCA 登録数は約 700 件¹²³で、前年の 2 倍にのぼると指摘している。

ストリートフードは、事業者が移動式屋台で低価格な料理を提供することから始まったが、人気を博した業者が実店舗へと移る、また大規模事業者が関与するようになるなど、ストリートフードの高級化とも言える傾向が見られる。実店舗への移転に際しては、実店舗の所有者とストリートフード事業者が共同パートナーとなって开店するケースや、スト

¹¹⁹ <http://www.theguardian.com/lifeandstyle/2011/jun/19/street-food-recipes>

¹²⁰ <http://www.london.gov.uk/media/mayor-press-releases/2013/06/mayor-backs-pilot-to-boost-jobs-and-growth-in-london-small>

¹²¹ <http://britishstreetfood.co.uk/awards/awards-2014/>

¹²² <http://www.streetfood.org.uk/-uk-street-food-markets.html>

¹²³ <http://www.theguardian.com/lifeandstyle/2014/oct/08/has-britains-street-food-revolution-run-out-of-road-big-business>

リートフード事業者がテナントとして実店舗を借り受けて開店するケースが見られる。

例えば、外食チェーン **Upper Crust** と **Ritazza** に加えて世界の観光地で外食店舗を経営している **SSP**¹²⁴は、ストリートフード業者に一時的な実店舗での販売機会を提供するというマンチェスター空港のフードエリアでの企画に参加するために、ストリートフード業者としても登録している。**SSP** はストリートフード参入の理由について、移り変わる消費者の嗜好とニーズに対応するためだと説明した¹²⁵。また、バタシー発電所複合施設の開発業者は、開発の一環として、3 階まで屋台の車を運び入れることが可能なストリートマーケット「**in the sky**¹²⁶」を検討していると発表した。これらの動きは、ストリートフードが、小規模事業者の草の根的な動きからより大企業が関与するものへと移行していることを示しているといえる。

実店舗に移動したストリートフード業者の例として、大きな成功を収めたハンバーガーレストラン **MEATliquor** が挙げられる。同店は、屋台店舗 **The Meatwagon** でのハンバーガー販売から始め、現在ではロンドン南部のハーンヒルにあるパブのテナントとして、更にロンドン南部のニュークロスにある空きパブにおいて、またロンドンとブライトンでも実店舗を営業している¹²⁷。

以下に和食のストリートフード業者を紹介する。

<Musubi>

塩鮭、牛肉蒸し煮と生姜又はヒジキとキノコのおむすびを専門とするストリートフード業者であり、ロンドン東部にあるブロードウェーマーケットで販売を行っている。2014 年 7 月にはロンドン東部のダルストン地区で、枝豆や京都風卵焼きなど人気のある日本食の一品料理や、またおむすびに合うように工夫された日本風カクテルと共におむすびを提供するカクテルバーを、1 週間限定で出店した¹²⁸。

<Peko Peko>

カツカレー (7.50 ポンド)、牛丼 (7.50 ポンド)、豚の角煮 (6.50 ポンド) など、手ごろな価格で日本食メニューを提供している¹²⁹。ストリートフードの屋台から、東ロンドン

¹²⁴ <http://www.foodtravelexperts.com/international/>

¹²⁵ <http://www.bighospitality.co.uk/Venues/Street-food-pop-ups-to-feature-at-Manchester-Airport-s-Food-Quarter>

¹²⁶ <http://www.standard.co.uk/news/london/battersea-power-station-plan-for-street-food-market-in-the-sky-9714014.html>

¹²⁷ <http://www.standard.co.uk/goingout/restaurants/the-meatliquor-effect-did-dirty-dining-all-start-in-a-peckham-car-park-9696114.html>

¹²⁸ <https://www.facebook.com/MrMusubis>

<http://www.mrmusubi.co.uk/>

¹²⁹ <https://www.facebook.com/PekoPekoKitchen/info?tab=overview>

にあるミュージックパブ「The Pipeline」内のキッチンに入る形で実店舗へと移った。このパブでは、Japan Underground という日本のアーティストを PR する会社がアーティストを紹介するイベントを以前から定期的で開催しており、イベントコンテンツの一部として Peko Peko が屋台を出していたところ、実店舗として入ることが決まったという。なお、The Pipeline は、日本食レストラン The Japanese Canteen の店舗の真横に位置している。

(2) ポップアップ (Pop-up) レストラン (一時店舗)

一時的に店舗を借りて商売を行うポップアップレストランは、2012 年頃からロンドンの外食産業で人気を集めており、マーケティングの機会が提供され、実店舗の開店に要する莫大な費用負担を回避できることから、事業者によくの機会を与えている。また、ポップアップレストランはその「限定性」が広く認識されていることから、事業者が提供するメニューの質やサービスに対して、限定性を売り物に平均以上の価格を設定することも可能にしている。ポップアップレストランは、確固たるコンセプトに基づくことが多い。例えば、Tincan¹³⁰は、ロンドンのソーホー地区で魚の缶詰のみを販売するポップアップレストランとして開店、既に閉店したが、2015 年にはニューヨークでポップアップ店舗として登場する予定であるという。

ストリートフード業者と同様に、ポップアップレストランにも、実店舗へと大成功を収めた例が数多くある。例えば、ハンバーガーとステーキレストランの Flat Iron (現在はソーホー地区にある)、また、さらに有名な例として、ロンドン的高级エリアであるチェルシー地区においてポップアップ店舗から実店舗に移行した Kurobuta¹³¹が挙げられる。Kurobuta は、居酒屋風カジュアルダイニングをコンセプトにしたレストランであり、高級日本食レストラン Nobu の元ヘッドシェフであるオーストラリア人のスコット・ホールズワース氏が運営している。メニューには、豚三枚肉の肉まん(13 ポンド)、和牛スライダー(19 ポンド)、ベビーチキンのグリル (味噌味) (12 ポンド) などが並ぶ。反響は非常によく、2014 年のオープンテーブル¹³²・ダイナーズチョイスアワード賞を受賞したほか、ビジネス雑誌ブルームバーグの 2014 年の新しいロンドンのレストランにベスト 10 入りし、また複数の大手新聞でのレビューでは 5 つ星を獲得している。2015 年にはニューヨークでポップアップ店舗を開店する予定である。

http://www.thepipelinebar.co.uk/index.php?option=com_content&view=article&id=18&Itemid=13

¹³⁰ <http://www.tincanlondon.com/about/>

¹³¹ www.kurobuta-london.com

¹³² オープンテーブルとは、オンライン上のレストラン予約サイト。 <http://www.opentable.co.uk>

(3) メニュー特化型レストラン

一皿料理を提供するレストランやメニューの種類が少ないレストランも近年ロンドンで増加しているが、この動きは、スペース等の制約からメニューの種類を限定せざるを得ないストリートフード業者の人気上昇に影響を受けている可能性がある。実店舗のテナントやポップアップレストランとしてスタートした店舗（Flat Iron、Mussel Men など）もあれば、実店舗から始まったレストラン（Burger and Lobster、Dirty Burger/Chicken Shop など）もある。

基本的には、ピザやフィッシュアンドチップスのような一皿料理を提供するレストランは長い間存在してきたが、メニュー特化型レストランは、近年の人気を背景にその範囲が広がった。メニュー特化型レストランの人気は、利便性、ノスタルジア（多くのレストランで「ほっとする」スタイルの料理が提供されているという）、手頃な価格設定によるアクセスのしやすさが要因となっている可能性が高い。メニュー特化型レストランは、事業者にとっては調達する材料の種類が少なく済むことから、無駄が少なく効率が高い一方で、飽きられるリスクもあると業界の専門家は指摘する。また、シェフの技術向上への悪影響も指摘されている¹³³。提供するメニューは完璧でなくてはならず、参戦者の増えるメニュー特化型レストラン市場で目立つだけの十分な強みも必要となる¹³⁴。

(4) ジャンクフード、バーベキュー、グルメハンバーガー

ジャンクフードの隆盛は、ストリートフードの人気も要因となっている。ジャンク（＝英語では「汚い (dirty)」、又は「不潔 (filthy)」と呼ばれることも）フードは、米国標準の大きなサイズで、食べる際に散らかり、非常に不健康な食品であると特徴付けられている。ジャンクフードの人気を背景に、アメリカ風のハンバーガー、あばら肉、プルドポーク（豚肉の塊を味付けして調理し、調理後ほぐして提供する）、鶏のから揚げなどを提供する新しいレストランが増加した。これらのメニューは脂肪分が高く濃厚で、長期的な流行になっているダイエット、スーパーフードの食材、野菜スムージー、グルテンフリーなどの食品における健康志向に対する逆反応とも言える。なお、例えばプルドポークは、大規模チェーン店である EAT の昼食用サンドイッチなど、ジャンクフードとは言えないメニューにおいても登場回数が増えている。

¹³³ <http://www.bighospitality.co.uk/Business/One-trick-ponies-Are-single-dish-restaurants-widening-the-industry-skills-gap>

¹³⁴ <http://www.esquire.co.uk/food-drink/article/4934/londons-best-single-dish-restaurants/>
<http://blog.lockhartcatering.co.uk/2014/03/17/single-concept-restaurants-making-the-most-of-a-one-dish-niche/>
<http://www.bighospitality.co.uk/Business/One-trick-ponies-Are-single-dish-restaurants-widening-the-industry-skills-gap>

ジャンクフード人気の延長として注目すべき点に、ロンドンのハンバーガーレストランの増加が挙げられる。Shake Shack、Honest Five、Flat Iron（ポップアップ店舗から）は、Byron や The Gourmet Burger Company などの有名ブランド店舗に挑戦している。これらの店舗はアメリカ風ハンバーガーとして既に認知されている MEATliquor や Dip & Flip 等が提供するメニューほどジャンクではないものの、ハンバーガーレストランの増加はカジュアルダイニングレストランへの人気移行の一つの現れであるともいえる。上昇しているアメリカンバーベキュー風の料理やレストランの人気にも、同様の傾向であるといえる¹³⁵。

なお、英国で日本食は、一般的に「ヘルシー」という傾向と結び付けて考えられることが多いが、2014年の英国ストリートフード賞（British Street Food Awards）でベストハンバーガー賞を受賞したハンバーガーは、日本の風味から発想を得ている（「crispy togarashi onions」や「wasabi ketchup」を使用しているとの記載が確認できる）¹³⁶。

また、ジャンクフードの隆盛と日本食とを融合した注目すべき例として、以前高級日本食レストラン Zuma の料理長を務め、伝統的アメリカンバーベキューを学ぶために米国で勤務した経歴も持つオーストラリア人シェフ、ロス・シオンハン氏が経営する Bone Daddies と、Flesh and Buns¹³⁷が挙げられる。Bone Daddies は、ロンドンでのラーメン店（後述）の流行に即している一方で、「ロカビリー」と「マンガ」を融合させた和洋折衷の店舗スタイルを表現するために、通常日本食レストランにおいて好んで使用されるいわゆる「和風の」インテリアを一切使用しない、ロンドンでは全く独自の雰囲気のラーメン店となっている。シオンハン氏は Bone Daddies の成功後、ハンバーガーの流行を真似てはいるが、アメリカのブリオッシュの代わりに肉まんのバンズ（ヒラタバン）を、牛肉パティの代わりに日本の調味料を用いて味付けした肉を使用するユニークな店舗である Flesh and Buns もオープンした。

（5）メディアに取り上げられた 2015 年の新しい傾向

その他、主なメディアに取り上げられた 2015 年の傾向をいくつか紹介する。

テクノロジー：食事客が予約および支払いを直接行うことができるスマートフォンのアプ

¹³⁵ <http://www.ft.com/cms/s/2/68b1fc02-1930-11e2-af4e-00144feabdc0.html>

<http://www.standard.co.uk/goingout/restaurants/peak-filth-why-londoners-have-had-their-fill-of-dirty-burgers-and-chilli-cheese-challenges-9561677.html>

¹³⁶ <http://britishstreetfood.co.uk/awards/awards-2014/the-winners-are/>

¹³⁷ <http://www.onblackheath.com/onblackheath-2014/chef/chiappa-sisters/>

りの存在を見ても分かるように、テクノロジーは食品産業において、ますます重要な役割を果たすようになると多くの専門家が予測している。予約、支払い、ポイント集約ができるアプリである Velocity は、今後人気が出ると予想されている。このアプリは、日本は先端技術と結び付けてイメージされることが多いため、日本食レストラン Nozomi Restaurant で試行されている¹³⁸。

地域性：エスニック料理（例：中国、インド）を、より小さな地域（例：四川、パンジャブ）へ細分化する動きが見られる。

ケバブ：ジャンクフード人気の中で、いくつかのメディアがハンバーガーやあばら肉に続き、ドネル・ケバブが流行のジャンクフードとしての地位を確立すると予測した¹³⁹。

2.2 日本食における動向

以下、日本食レストランにおける近年の動向を紹介する。

(1) ラーメン

ロンドンでは 2012～2013 年以降に次々とラーメン店が開店し、人気を博している。メディアによく取り上げられる Bone Daddies や Tonkotsu は今でも人気を維持しており、そのラーメン人気を受け、イズリントンに United Ramen、トッテナム・コート・ロードに Kanada-Ya、ソーホーに Shochu Kanteen と Sasuke と、次々にラーメン店が新規オープンした。とりわけ、日本のラーメンチェーンによる英国市場参入として、セントラル・セント・ジャイルズ（再開発地域）に開店した Ippudo London は、海外需要開拓支援機構（クールジャパン機構）¹⁴⁰からの投融資を受けて、今後 5～6 年の間に欧州全体で最大 35 店舗を出店する計画となっている¹⁴¹。

また、2014 年 9 月には、ロンドンデザインウィークの一環でラーメンナイトが開催されたほか、2014 年 10 月には、サントリーの出資でロンドンレストランフェスティバルの一環としてジャパニーズ・ジャーニーというイベントが開催され、チケット制でラーメン店 3 店舗を含む和食レストラン 6 店への入店ができるという企画も行われた¹⁴²。

¹³⁸ <http://www.independent.co.uk/life-style/food-and-drink/features/tastiest-food-trends-for-2015-9953124.html> ;

<http://londonist.com/2014/12/food-and-drink-trends-to-look-out-for-in-2015.php>

¹³⁹ <http://mobile.bighospitality.co.uk/Business/Restaurant-trends-for-2015#VMJdiyxpZs>

<http://www.malsarkest.co.uk/news/restaurant-trends-for-2015/>

<http://www.telegraph.co.uk/foodanddrink/11335371/Is-this-the-best-kebab-shop-in-Britain.html>

¹⁴⁰ <http://www.cj-fund.co.jp/en/about/cifund.html> ; http://www.cj-fund.co.jp/en/files/press_141208-2.pdf

¹⁴¹ <http://www.standard.co.uk/goingout/restaurants/are-you-ready-for-ramageddon-where-to-eat-japanese-noodle-soup-in-london-9754694.html>

¹⁴² <http://www.londonrestaurantfestival.com/events/japanese-journey/>

ラーメンは、ボリュームたっぷりかつ比較的低価格なファストフードをスタイリッシュな空間で提供するという、カジュアルダイニングの傾向に合致していることも、人気を博す要因の一つであると考えられる。また、新しいラーメン店が次々と開店するにつれ、メニューが多様化していることは、前述のエスニック料理における地域化の傾向にも合致している。とはいえ、ラーメンははまだロンドンのみにおける流行であり、ロンドン以外における店舗は非常に少ない¹⁴³。

(2) うどん

ラーメンほどの人気はないが、うどんもまた、ロンドンのレストランにおいて徐々に存在感を高めている。ソーホー地区に位置する讃岐うどん店 **Koya** は、予約不可、余計なサービス抜ききのヌードルバーとして食事客が行列をなしており、現在、1日当たりの食事客数約 300 人を数える¹⁴⁴。続いてキングスクロスに、日本のサンリフレホールディングスによるうどん専門店 **Den** がオープンした。このうどん専門店の料理長は、**Koya** 及び **Bone Daddies** で働いた経歴を持ち¹⁴⁵、メニューには、日本のうどんとは異なる様々な試行的メニューが取り入れられている。一方、**Koya** の店舗を拓げる形でオープンした **Koya Bar** では、主に伝統的なうどんメニューに力を入れている¹⁴⁶。

(3) 和牛

日本産和牛の欧州への輸入解禁後、**Nobu** や **Zuma** を含む多くの高級日本食レストランのメニューに和牛が取り入れられた。しかし一方で、日本以外の他地域で生産された **Wagyu** をメニューに提供しているレストランもあれば、日本から輸入された本物の和牛であることを明確にしないまま、和牛を提供し続けているレストランも多い。例えば **Sushi Samba** では、アルゼンチンから調達した **Wagyu** を提供している¹⁴⁷。

¹⁴³ <http://www.standard.co.uk/goingout/restaurants/are-you-ready-for-ramengeddon-where-to-eat-japanese-noodle-soup-in-london-9754694.html>

<http://www.theguardian.com/lifeandstyle/wordofmouth/2015/jan/22/ramen-raiders-noodles-foodie-fashion>

<http://www.theguardian.com/lifeandstyle/2014/nov/02/shoryu-ramen-sasuke-ippudo-london-restaurant-reviews-jay-rayner>

¹⁴⁴ *The don of Udon*, Sunday Times, 16th November 2014

¹⁴⁵ <http://www.bighospitality.co.uk/Venues/Udon-restaurant-den-prepares-for-UK-launch>

¹⁴⁶ *The don of Udon*, Sunday Times, 16th November 2014

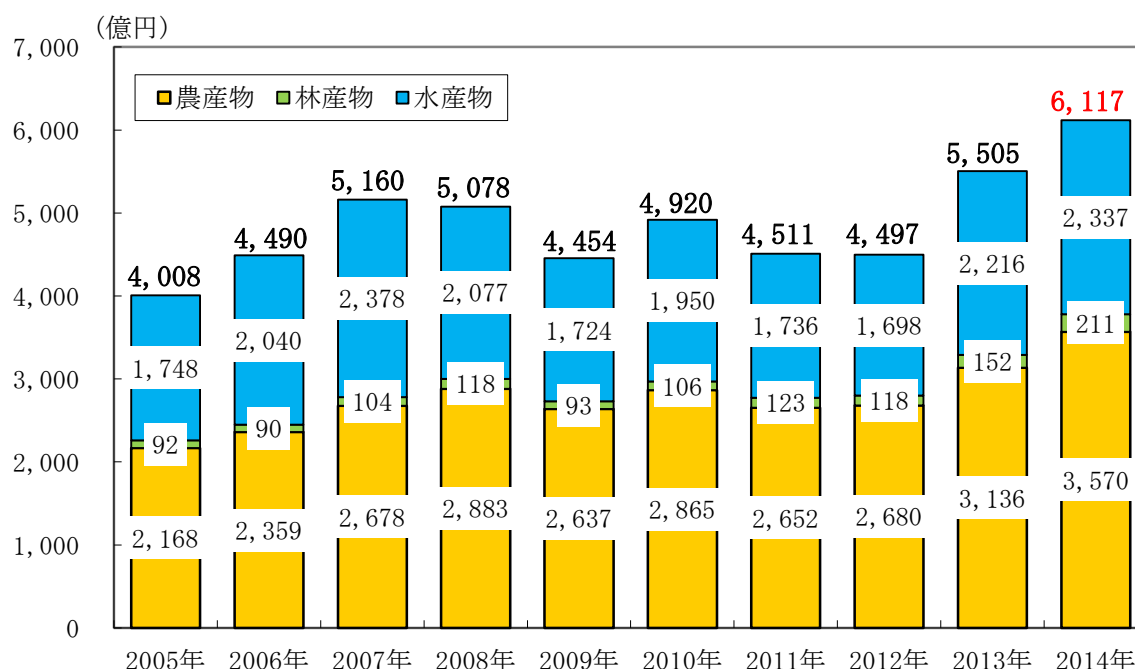
¹⁴⁷ Confirmed with Sushi Samba waiter, December 2014

3. 日本食品の輸出動向

3.1 日本の農林水産物・食品の輸出推移と特徴

日本の農林水産物・食品の輸出額は2007年に初めて5,000億円を超えた後は、2011年の原発事故に伴い多くの国が日本産農林水産物・食品の輸入規制を強化したこと、またリーマンショックや円高などを背景に伸び悩む傾向にあった。しかしその後、官民一体となった輸出促進の取り組みや円安を背景に、近年は年々増加し、2014年は6,117億円と1955年に輸出額の統計を取り始めて以来の最高値となった。

図17：農林水産物・食品の輸出額の推移（2005～2014年）¹⁴⁸



国・地域別の内訳をみると、アジアが全体の72%、北米が17%を占めており、国・地域別順位では、1位香港、2位米国、3位台湾、4位中国、5位韓国となっている。

一方、前年比の増加率でみると、地域別では欧州（16.9%増）と北米（13.3%増）が、また国別ではアラブ首長国連邦（44.5%増）と英国（44.1%増）がそれぞれ高い伸びをみせた。

¹⁴⁸ 農林水産省：<http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/kaigai/pdf/150210-01.pdf#search=%E8%BE%B2%E6%9E%97%E6%B0%B4%E7%94%A3%E7%89%A9%E3%83%BB%E9%A3%9F%E5%93%81%E3%81%AE%E8%BC%B8%E5%87%BA%E9%A1%8D%E3%81%AE%E6%8E%A8%E7%A7%BB>

図 18：農林水産物・食品の輸出額の国・地域別内訳（2014年） 149

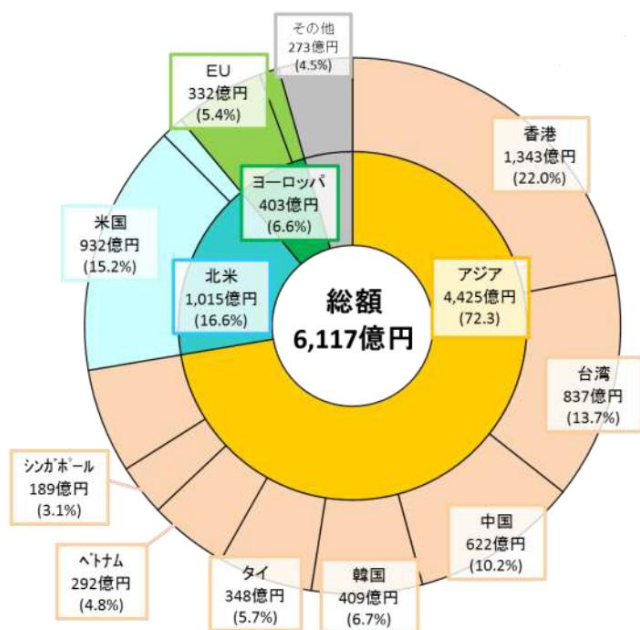


表 28：農林水産物・食品の輸出額の国・地域別内訳（2014年） 150

	2013年	2014年	増減率		2013年	2014年	増減率
世界	5,505	6,117	11.1%	北米	896	1,015	13.3%
アジア	4,001	4,425	10.6%	米国	819	932	13.9%
香港	1,250	1,343	7.5%	カナダ	61	74	21.7%
台湾	735	837	13.8%	欧州	345	403	16.9%
中国	508	622	22.4%	EU	283	332	17.1%
韓国	373	409	9.6%	オランダ	58	74	28.6%
ASEAN	1,006	1,056	5.0%	英国	43	63	44.1%
タイ	344	348	1.1%	ドイツ	63	58	▲8.7%
ベトナム	293	292	▲0.1%	フランス	45	49	9.8%
シンガポール	164	189	15.6%	ロシア	37	42	11.6%
フィリピン	67	70	5.2%	大洋州	144	157	8.8%
マレーシア	62	68	9.8%	豪州	80	94	17.5%
インドネシア	54	59	9.0%	ニュージーランド	31	27	▲13.0%
GCC (湾岸6カ国)	72	92	29.1%	アフリカ	82	82	▲0.6%
アラブ首長国連邦	41	59	44.5%	南米	37	34	▲6.4%

¹⁴⁹ 農林水産省：http://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_info/pdf/26_kunibetu_meguii_kakutei.pdf

¹⁵⁰ 農林水産省：http://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_info/pdf/26_kunibetu_meguii_kakutei.pdf

3.2 EU 向け日本産農林水産物・食品輸出実績と特徴

2014年のEU向け日本産農林水産物・食品の輸出額は、332億円と、2013年（283億円）に比べ17.1%の大幅増となった。品目別では、「アルコール飲料」、「播種用の種等」、「ソース混合調味料」などが上位を占める。特にアルコール飲料は毎年順調に輸出額を増やしており、2009年（14億円）比では約2.5倍（36億円）にまで拡大した。

日本から世界への農林水産物・食品の輸出額のうち、EU向けは5.4%程度であるが、EUの総人口が5億人超¹⁵¹であることや、他の地域に比べて所得水準が高いことなどから、品質の高い日本産食材は、高価格ながらも受け入れられる余地は十分にあるものと考えられる。

表 29：EU 及び域内主要国の農林水産物・食品の輸出額上位 10 品目¹⁵²

	EU	オランダ	英国	ドイツ	フランス
1	アルコール飲料 36億円	メントール 8億円	アルコール飲料 11億円	ラノリン 11億円	アルコール飲料 17億円
2	播種用の種等 18億円	ホタテ貝 8億円	ソース混合調味料 5億円	緑茶 10億円	しょうゆ 3億円
3	ソース混合調味料 17億円	播種用の種等 7億円	しょうゆ 4億円	ソース混合調味料 3億円	ペプトン等 2億円
4	ホタテ貝 16億円	魚油（肝油除く） 5億円	インスタントコーヒー 3億円	ニシキゴイ等 2億円	ホタテ貝 2億円
5	しょうゆ 16億円	アルコール飲料 4億円	ホタテ貝 3億円	醤油 2億円	ソース混合調味料 2億円
6	緑茶 15億円	ニシキゴイ等 4億円	ラノリン 2億円	真珠(天然・養殖) 2億円	緑茶 2億円
7	ラノリン 15億円	ソース混合調味料 3億円	清涼飲料水 2億円	アルコール飲料 2億円	真珠(天然・養殖) 2億円

¹⁵¹ 外務省：<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/eu/data.html>

¹⁵² 財務省「貿易統計」、農林水産省データを基に作成。

8	メントール 14 億円	配合調製飼料 2 億円	ニシキゴイ等 2 億円	牛肉 2 億円	植物の液汁エキ ス 1 億円
9	真珠(天然・養殖) 10 億円	しょうゆ 2 億円	真珠(天然・養 殖) 2 億円	その他の木製品 1 億円	たばこ 1 億円
10	ニシキゴイ等 9 億円	植物の液汁エキ ス 2 億円	ブリ 1 億円	ペプトン 1 億円	播種用の種等 1 億円

※ソース混合調味料...ソース、たれ、ドレッシング、カレー調製品等の調味料。

※ラノリン...羊毛製品の副産物として生産される油脂で、化粧品、軟膏等に使用。

※メントール...ハッカから抽出される成分で、チューインガムや歯磨き粉等に使用。

3.3 英国向け日本産農林水産物・食品輸出の実績・特徴と主要品目の各輸出推移

EU 向けと同様に、2014 年の英国向けの日本産農林水産物・食品の輸出実績は 63 億円と、2013 年（44 億円）に比べ 44.1%の大幅増となった。なお、EU 域内はモノの流通が比較的自由であることを踏まえると、オランダ等に輸出された食品がその後オランダから英国に運ばれ、英国で消費されている可能性が高く、英国における日本産農林水産物・食品の消費額は、輸出額より大きくなる可能性がある。

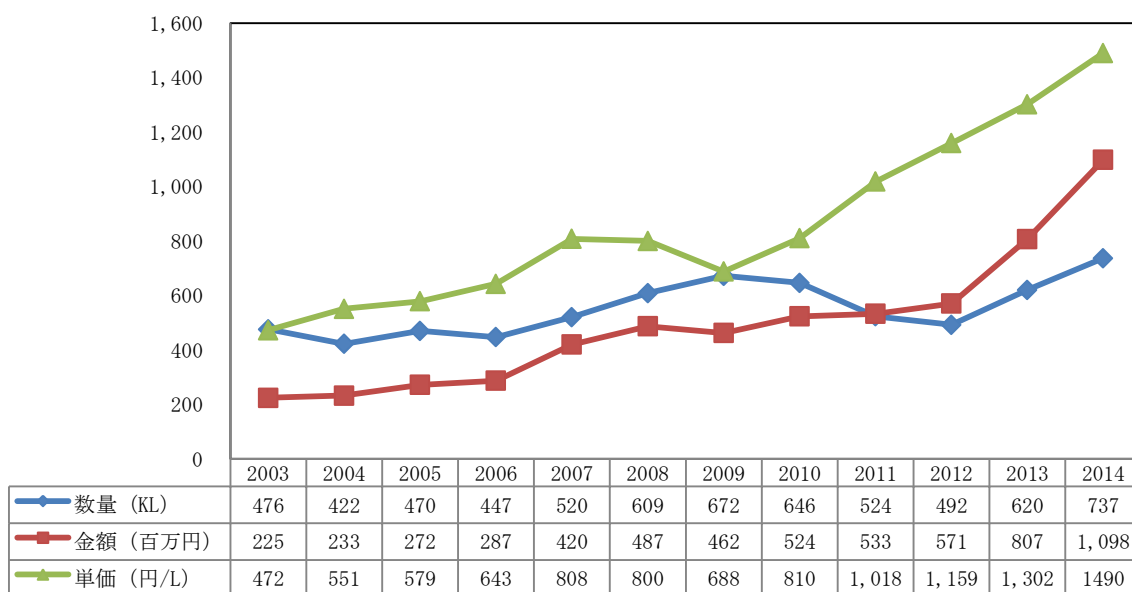
品目別でみると、EU 全体と同様、アルコール飲料（11 億円）が 2 位以下を大きく引き離し、次いでソース混合調味料、しょうゆなどが上位を占めている。

中でも、2014 年の英国向けの日本酒輸出額（2 億 8,800 万円）は、2000 年（1 億 1,800 万円）比で約 2.4 倍に増加しているなど、英国における日本食レストラン数の増加や在英邦人の日本酒普及に向けた取り組み等を背景に、リーマンショックや原発事故などがあつた中でも安定した増加基調を続けており、とりわけハイエンドな日本食レストラン等で日本酒が受け入れられるようになったことを背景に、単価（金額／数量）が上昇傾向にあることをその大きな特徴としている最近では、米国など日本以外の国で生産された日本酒が英国へ輸入されるケースも増加している¹⁵³。

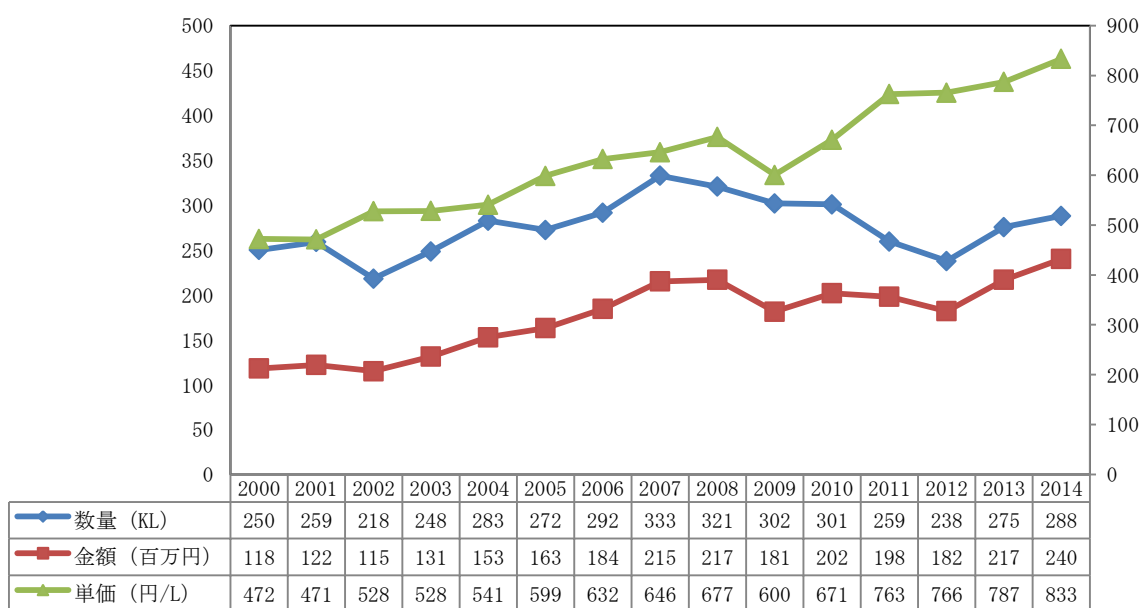
主要品目別の輸出推移は以下のとおり（データは全て財務省『貿易統計』に基づく）。

¹⁵³ 日本国外で生産する大手日本酒メーカーより聴取

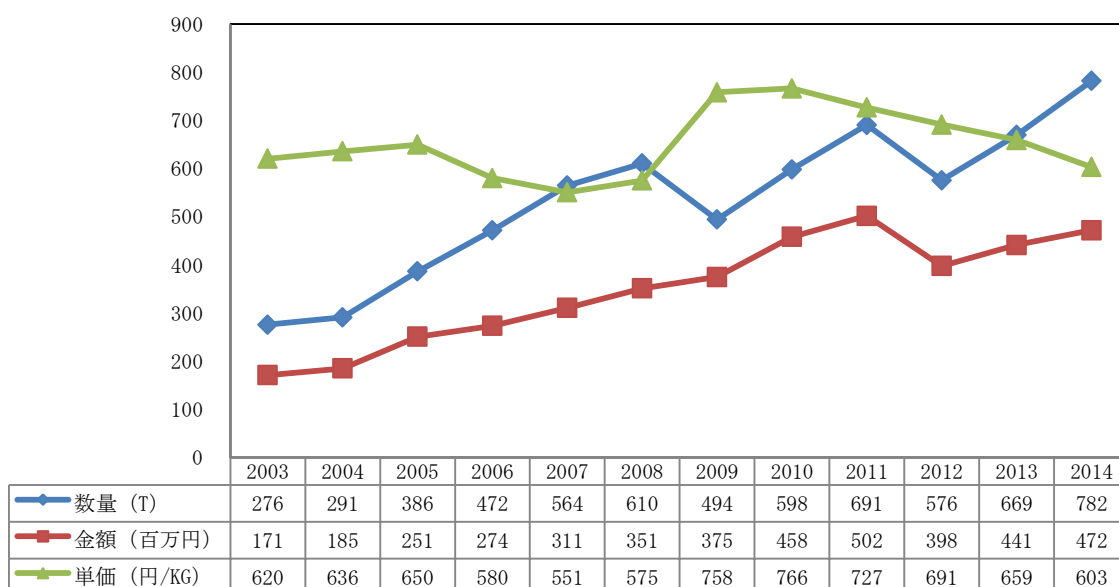
【アルコール飲料】



【(参考) 日本酒】

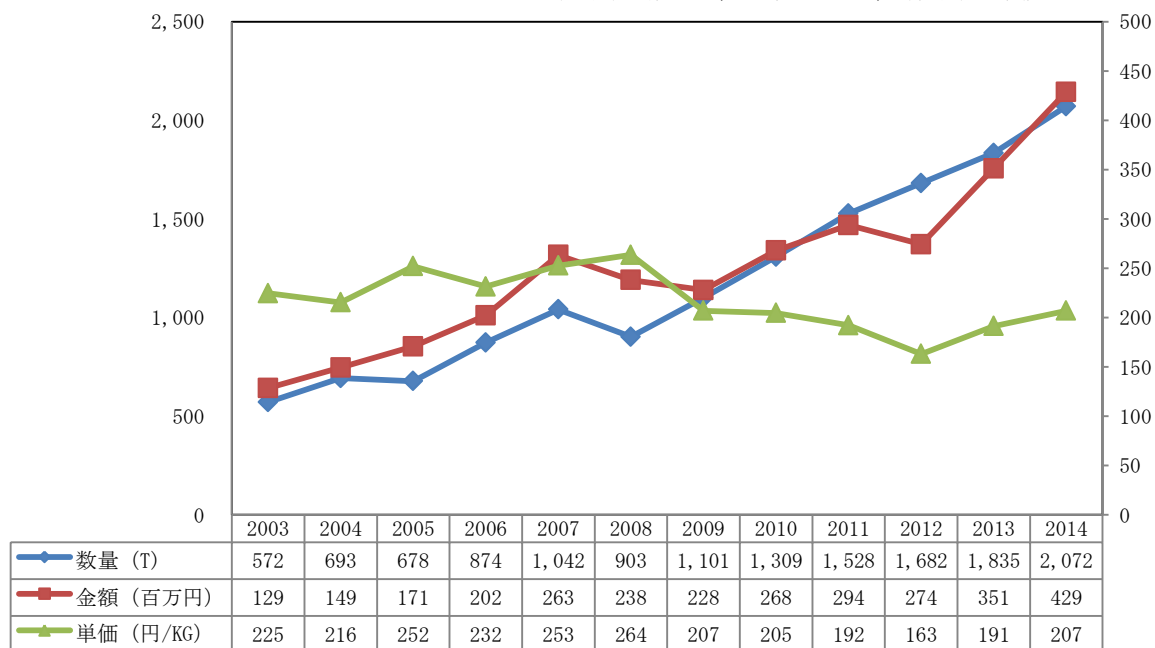


【ソース混合調味料】

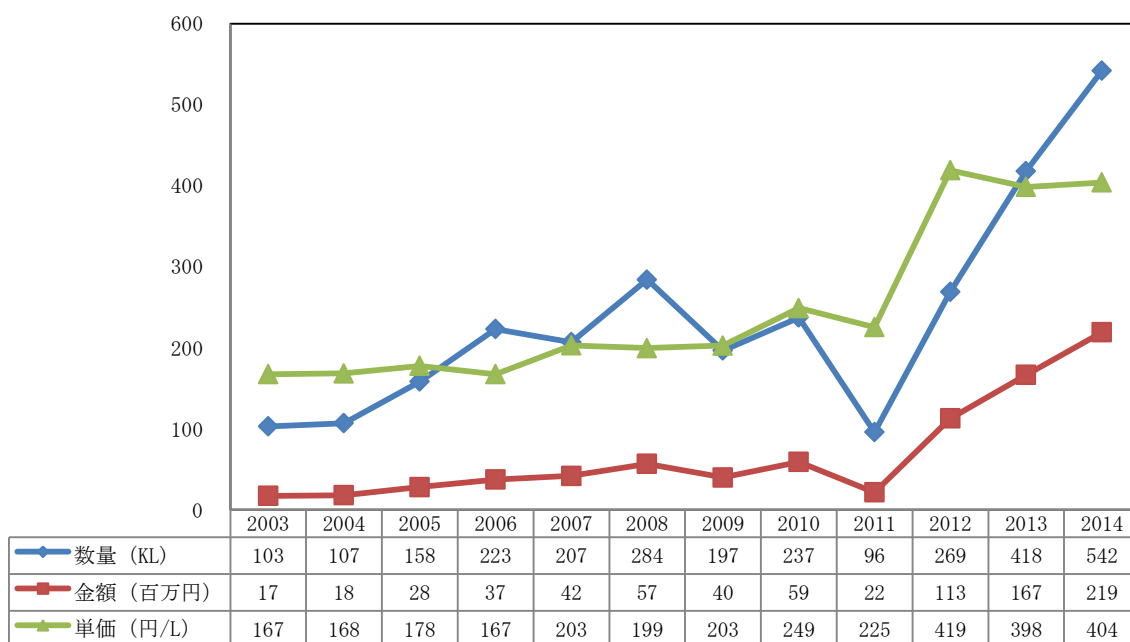


【しょうゆ】

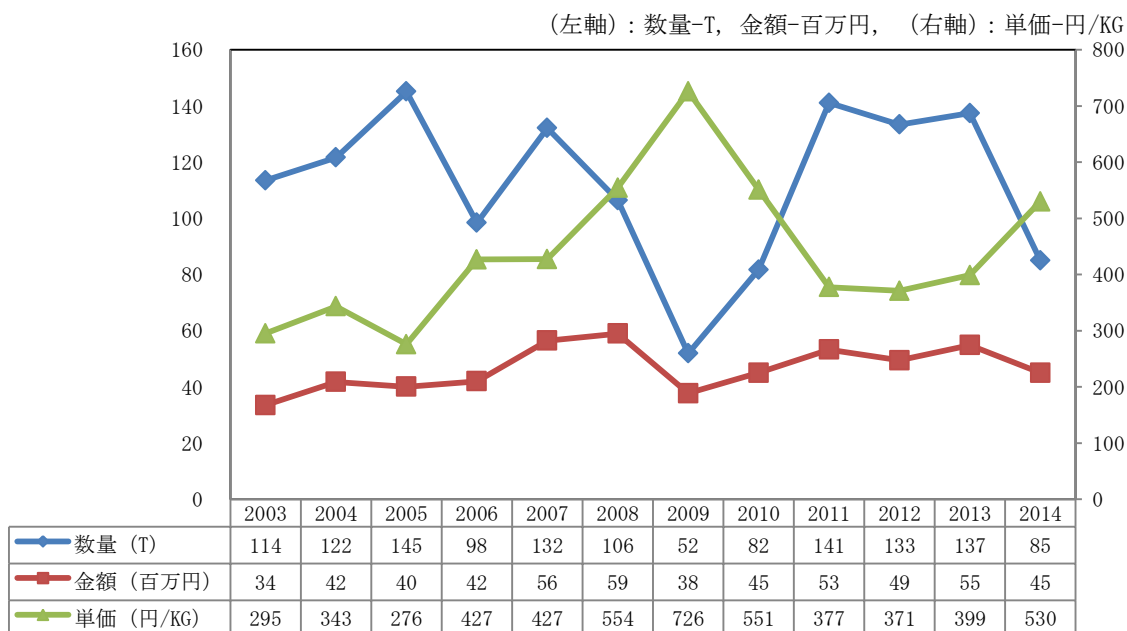
(左軸) : 数量-T, 金額-百万円, (右軸) : 単価-円/KG



【清涼飲料水】

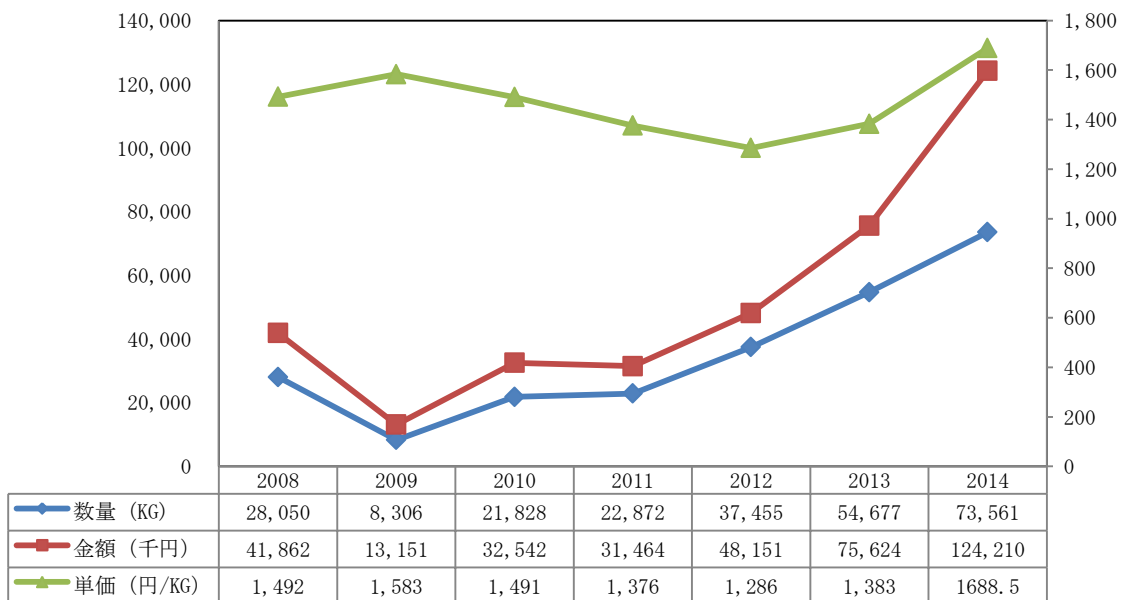


【即席麺】

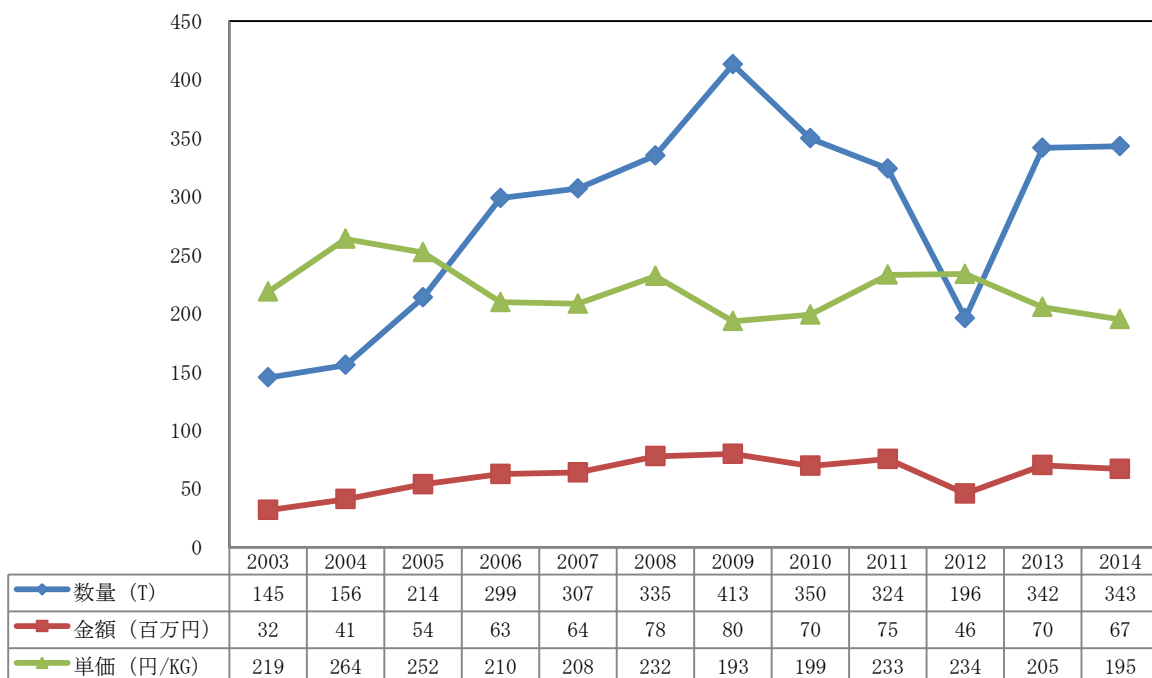


【ブリ（生鮮・冷蔵・冷凍）】

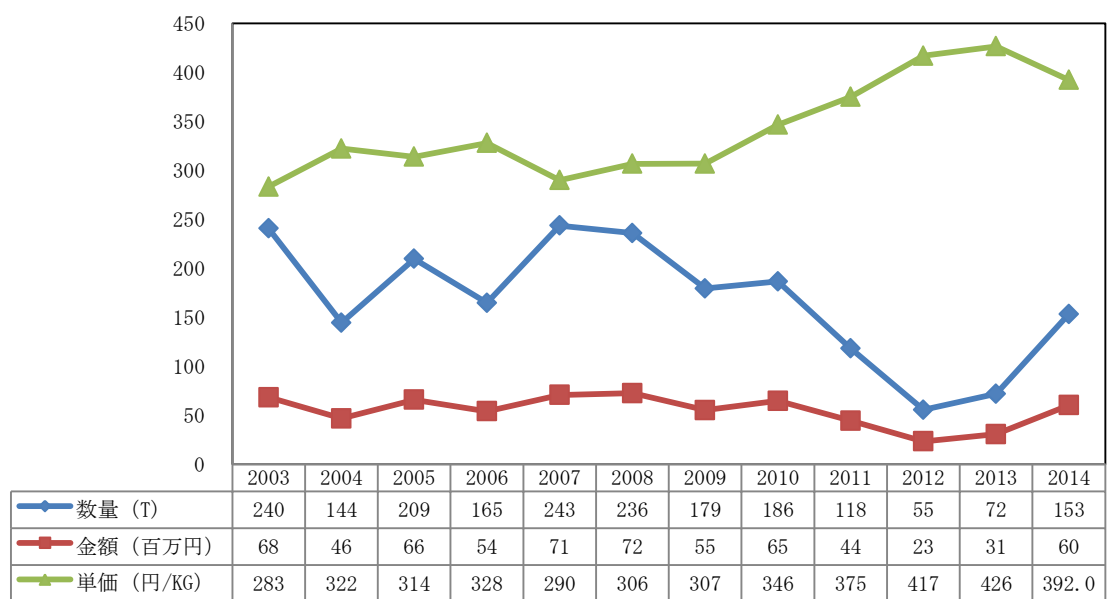
(左軸)：数量-KG, 金額-千円, (右軸)：単価-円/KG



【味噌】



【うどん・そうめん・そば】



英国日本食品消費動向調査

2015年3月作成

作成者 日本貿易振興機構（ジェトロ） ロンドン事務所、農林水産・食品調査課

〒107-6006 東京都港区赤坂 1-12-32

Tel : 03-3582-5186 E-mail : AFC@jetro.go.jp
